

目 次

平成27年度 定時総会開催にあたって	
	会長 星野 恵美子…………… 2
平成27年度 (公社) 千葉県看護協会定時総会プログラム	…………… 4
審 議 事 項	
第1号議案 平成26年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について	…………… 5
第2号議案 定款変更について	…………… 41
第3号議案 平成27年度役員及び推薦委員の選出について	…………… 42
第4号議案 会員以外の者からの監事の選任について	…………… 43
第5号議案 (公社) 千葉県看護協会のスローガンについて	…………… 43
第6号議案 平成28年度 (公社) 日本看護協会 通常総会代議員・予備代議員の選出について	…………… 44
報 告 事 項 …………… 45	
平成27年度 (公社) 千葉県看護協会事業計画及び収支予算について	…………… 45
平成26年度 理事会報告	…………… 61
平成26年度 業務運営会議報告	…………… 63
平成26年度 施設等会員代表者会報告	…………… 64
平成26年度 地区部会長会等報告	…………… 65
平成26年度 職能委員会報告	…………… 66
平成26年度 (公社) 日本看護協会関係報告	…………… 93
平成26年度 常任委員会及び推薦委員会報告	…………… 97
平成26年度 特別委員会報告	…………… 111
参 考 資 料	
平成27年度 千葉県看護協会長表彰等	…………… 113
看護職員の表彰	…………… 117
平成26年度 事業の実施状況	…………… 118
要望書	…………… 178
平成26年度 県・市町村及び関係団体の委員等受託状況一覧	…………… 185
平成26年度 各種団体の実施する行事への後援・協賛等実績一覧	…………… 188
名誉会員	…………… 190
平成26年度 役員・委員・地区部会役員名簿	…………… 191
平成26年度 地区・職能別入会状況・入会率	…………… 202
年度別会員数	…………… 203
地区部会区分図	…………… 204
(公社) 千葉県看護協会 組織機構図	…………… 205
(公社) 千葉県看護協会 組織運営図	…………… 206
(公社) 千葉県看護協会 業務体制	…………… 207
看護者の倫理綱領	…………… 208

平成27年度（公社）千葉県看護協会定時総会開催にあたって

会 長 星 野 恵美子

千葉県看護協会会長に就任して1年が経ちました。私は、これまで臨床一筋、約40年の経験を重ねてきました。臨床では、実践の他に院内教育責任者、管理にも携わってきました。看護実践の忙しい中でも遣り甲斐、人材育成の意義・楽しさや難しさ、定着・確保の困難さ、また、病院経営の厳しさ等々を経験してきました。この経験を、今、働いている看護職の課題解決に役立ちたいと強く感じ、取り組んでまいりましたが、まだまだやり足りなく感じることも、また、学ぶことの多い1年でした。

当協会は、公益社団法人としてスタートして4年目を迎え、看護職の職能団体としての使命と県民のニーズに応える組織としての使命という命題に真摯に向き合いながら課題や事業に取り組んでまいりました。お陰をもちまして、各事業は、当初の計画通り滞りなく推進することができました。昨年末に、公益法人認定法に基づく県の立入検査を受けました。その結果「指摘事項なく、適正に運営、処理されている」という評価を受けたことをご報告申し上げます。これらも会員の皆様の協会事業の推進に対する惜しみないご協力とご支援の賜物と感謝申し上げます。

さて、看護を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。昨年の4月診療報酬の改定、6月には「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進する法律」いわゆる「医療介護総合確保推進法」が成立しました。これらの影響も受け、今後、在院日数の短縮や医療提供体制の「病院から在宅へのシフト」が進められ、ほとんどの病床機能に在宅復帰率の算定要件が設けられる等、ますます在宅医療ニーズの増大が予測されます。

疾病や障害を持ちながらも生きがいを持って充実した毎日を過ごす人々も増加しております。その人々が住み慣れた地域で、安心・安全に暮らしていくことを支え、QOLの向上を支援するには、「医療（看護）と生活（介護）の統合」は欠かせません。

さらに、この4月の介護報酬改定も2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築に焦点が当たっています。来る2025年までに残すところ10年となりました。こうした大きな流れを背景として当協会は、より具体的な課題の絞り込みと取り組みができるように従来の看護職能委員会を「病院領域」Ⅰと、「介護・福祉関係施設・在宅等領域」Ⅱに区分できるよう定款の変更を本総会にお諮りしているところです。時代の要請に即応した医療の提供体制の改革や地域包括ケアシステムの構築に向けた、研修の充実や事業の推進に取り組んでまいります。

これらの課題への取り組み・活動、そのためにも訪問看護師を含めた看護職の定着・確保は喫緊の課題です。本年10月から始まる「看護師等の離職時におけるナースセンターへの届出制度（努力義務化）」が、円滑かつ的確に実施できるよう「離職看護師等の届出制度推進検討会」を立上げて、行政と連携しながら対応・対策、広報活動等を行い、周知に努めてまいります。看護職の皆様や施設の管理者の方々には、離職時の届出へのご支援・ご協力をお願い致します。

並行して、働き続けられる職場環境づくり「ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ事業」の推進についても強化してまいります。今年度は新たに6施設が開始されています。これで千葉県内11地区24施設となります。今年度から県では、直営で「労働環境改善支援センター」が立ち上がります。協会も協同・連携しながらより充実させていきます。

また、潜在看護師の職場復帰支援として講習会や技術演習、相談・合同就職説明会等々も引き続き、拡充してまいります。昨年度は、3か所のハローワークに出向いての相談事業や協会内での随時技術演習、6箇所での地区別合同就職説明会を実施してまいりました。これらの事業が潜在看護職に周知され成果も少しずつ出てきていますので、今年度は、就業相談アドバイザーを増員し、拡大・強化していきたく考えています。

看護師養成への支援として、今年度は新たに看護教員養成講習会の開催、さらに実習指導者講習会を県からの委託事業として進めてまいります。今後、看護師養成校の増員や看護大学の開設の準備が進められており、看護学生の教育・実習環境の整備は引き続き、実施されていくと考えております。

この他の事業の取り組みの詳細については、協会の設置目的・役割である「看護職の資質の向上を図り、看護職が医療の担い手として誇りを持ち、安心して働き続けられる環境づくりと地域のニーズに応える保健・医療・福祉活動を推進することにより、看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献します」を基本として、5つの重点項目に取り組んだ結果と、また、平成27年度事業計画について、報告させていただきます。

今年度も会員の皆様の更なるご協力とご支援の後押しをいただきつつ、事業を推進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

平成27年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会 プログラム

日 時 平成27年6月18日（木）

9：00～16：00

場 所 ホテルポートプラザちば

- 8：30 受 付
- 9：00 オリエンテーション
- 9：10 開 会
会長挨拶
公益社団法人千葉県看護協会会長表彰
公益社団法人千葉県看護協会会長表彰受賞者謝辞
第33回千葉県看護研究学会優秀論文表彰
各受賞者紹介
叙勲
厚生労働大臣表彰
千葉県看護功労者知事表彰
日本看護協会会長表彰
来賓祝辞・祝電披露
- 9：50 議長団・議事録署名人選出
- 10：00 審議事項
第1号議案 平成26年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について
第2号議案 定款変更について
第3号議案 平成27年度 役員及び推薦委員の選出について
第4号議案 会員以外の者からの監事の選任について
第5号議案 千葉県看護協会スローガンについて
第6号議案 平成28年度（公社）日本看護協会通常総会
代議員・予備代議員の選出について
- 11：20 選 挙 平成27年度 改選役員及び推薦委員の選出について
- 11：50 — 休憩（昼食） —
- 12：45 報告事項 平成27年度 千葉県看護協会事業計画・予算等について
平成26年度 理事会、職能委員会、常任委員会等報告について
- 14：00 平成27年度 改選にかかる役員・推薦委員の選挙結果報告及び承認について
- 14：15 新旧役員・委員の紹介（新旧役員等挨拶）
- 14：30 講 演 「ただいだけで ～ 相田みつを の書と言葉 ～」
講 師 相田みつを美術館
館長 相田 一人 氏
- 16：00 総会閉会

第1号議案 (公社) 千葉県看護協会 平成26年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について

平成26年度事業報告

項目	実施計画 (新規事業：ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略)
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	1. 生涯教育 (1)生涯教育 ①資格修得教育 6コース ・認定看護管理者制度教育課程 ファーストレベル教育課程 セカンドレベル教育課程 ・医療安全管理者養成研修 ・心肺蘇生法トレーニングコース (BLS) ・実習指導者講習会 ・訪問看護師養成講習会(再掲) ②ステップアップ研修 23コース 段階別ステップアップ研修 (新人看護職員研修, 2年目, 中堅, 管理者等) 領域別ステップアップ研修 (感染, がん, 認知症, 災害等)	(1)生涯教育 全56コース ①資格修得教育 7コース 10回 126日 616名 ・認定看護管理者制度教育課程(内訳) ファーストレベル教育課程(6/13~7/8) 1コース 1回 28日 95名 セカンドレベル教育課程(9/8~11/26) 1コース 1回 37日 30名 ・医療安全管理者養成研修(9/10~9/19) 1コース 1回 7日 91名 ・心肺蘇生法トレーニングコース(BLS)(5/24, 5/25, 10/18, 10/19) 1コース 4回 4日 219名 ・実習指導者講習会(10/10~12/15) 1コース 1回 44日 64名 ・訪問看護師養成講習会(再掲) (1コース 1回 3日 44名) ・ 精神科訪問看護研修 1コース 1回 3日 73名 ②ステップアップ研修 24コース 41回 168日 4,128名 ・段階別研修(新人看護職員, 2年目, 中堅, 管理者等) 12コース 28回 85日 3,206名 ・領域別研修(感染, 認知症, 災害, 看護研究等) 12コース 13回 83日 922名 がん看護Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、認知症看護専門職ⅡⅢ、初めて取り組む看護研究Ⅱ、看護研究個別支援等 ・ 精神身体疾患併発患者診療機能支援事業フォローアップ研修 1コース 1日 21名 平成25年度精神身体疾患併発患者診療機能支援事業研修会 修了者30名対象
	③看護実践教育 26コース	③看護実践教育 25コース 32回 47日 2,768名 ・ 介護職員等対象の喀痰吸引等に関する指導者研修 1コース 1回 2日 33名 国立病院機構千葉医療センター附属看護学校を借用、教員の協力を得て終了した。
	(2)千葉県委託研修(再掲) ①新人看護職員研修(看護師、助産師、実地指導者、研修責任者・教育担当者研修) ②中堅看護職員スキルアップ研修 ③自殺予防対策人材育成研修 ④退院支援研修(訪問看護推進事業) ⑤実習指導者講習会	(2)千葉県委託研修(再掲) ①新人看護職員研修(看護師、助産師、実地指導者、研修責任者・教育担当者研修) ②中堅看護職員スキルアップ研修 ③自殺予防対策人材育成研修 ④退院支援研修(訪問看護推進事業) ⑤実習指導者講習会 ⑥ 介護職員等対象の喀痰吸引等に関する指導者研修
	2. 助産師出向支援モデル事業	H26年度にマッチング終了。9月末日締結し、10月1日から派遣開始で進めたが、下記の理由で事業中止となった。 ：派遣元である市立病院の市条例に抵触することが開始予定日直前で判明したため。
3. 千葉県看護研究学会 (1)第33回千葉県看護研究学会	(1)第33回千葉県看護研究学会 日 時：平成27年2月20日(金)9：30～15：30 場 所：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張ホール> テーマ：「想いをかたちに看護で未来につなげる」 内 容：特別講演「地域包括ケアの時代に～看護職に期待されること～」 講師 (株)ケアーズ代表取締役白十字訪問看護ステーション統括所長 暮らしの保健室 室長 秋山正子先生 ミニレクチャー「看護実践をつたえたい看護研究のまとめ方」 講師 順天堂大学医療看護学部 准教授 島田広美先生 一般演題39題(口演示説) 看護研究支援(相談支援、文献検索) 参加者：420名	
(2)看護研究学会への取り組み支援 ①初めて取り組む看護研究Ⅰ・Ⅱ (再掲) ②看護研究個別支援(再掲)	(2)看護研究学会への取り組み支援(再掲) ①初めて取り組む看護研究Ⅰ(基礎編) 1回 3日 101名 初めて取り組む看護研究Ⅱ(活用編) 1回 2日 22名 ②看護研究個別支援 8日 7名	
4. 図書室の管理運営 (1)図書室の管理運営 (2)資料・文献検索の支援	(1)図書室の管理運営 購入図書31冊、寄贈図書171冊、購入雑誌31冊、寄贈雑誌12冊 (2)資料・文献検索の支援 ①図書司書の在籍 在籍時間数：ア、定時在籍10時～13時30分(3.5時間)約88日、308時間 イ、臨時在籍12時30分～13時30分(1.0時間)約50日、50時間	

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	5. 委員会の開催 ①教育委員会 年6回 ②第33回千葉県看護研究学会実行委員会 年8回 ③認定看護管理者制度教育課程運営委員会 年3回 ④認知症看護専門職研修評価委員会 年1回 ⑤助産師出向モデル事業協議会 年3回	◎文献検索等相談件数153件文献複写申込数8件 ホームページからの情報提供関係機関からの情報をホームページに記載 図書館専用ページアクセス件数3,540件医中誌Webログイン回数227回 ①教育委員会 5回(7/24,9/11,11/13,27年1/15,2/26) ②第33回千葉県看護研究学会実行委員会 5回(9/9,10/7,11/10,27年1/22,3/10)継続中 ③認定看護管理者制度教育課程運営委員会 3回(7/3,9/11,27年3/15)継続中 ④認知症看護専門職研修評価委員会 1回(27年1/26) ⑤助産師出向モデル事業協議会 2回(10/23,27年1/8)
② 看護師等の労働環境等の改善 就業促進等による看護師等の人材の確保・定着に関する事業	1. 第3次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進 (1)看護職定着・確保対策協議会の開催 (2)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ①「看護ちば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通じた普及 (3)労働環境改善委員会の開催 年6回 2. 看護職の労働環境の向上 (1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進部会の開催 年6回 ②WLBワークショップ事業 ・事前研修会の開催 ・WLBワークショップの開催 5施設予定 既取組み施設13施設 ・WLBワークショップ、フォローアップの開催 ◎評価会議の開催(取組3年目施設) ◎インデックス調査(調査のみ参加施設等の支援) (2)看護職員の就業環境改善事業(千葉県委託) ①看護職員の就業環境改善事業Ⅰ、Ⅱ(研修) ②相談窓口開設事業 ③アドバイザー派遣事業 3. 看護進路相談事業 (1)出前授業(いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業 ①進路相談 ②出前授業	(1)看護職定着・確保対策協議会の開催(2/24)(委員8名、事務局8名) (2)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ◎「看護ちば」、ホームページ等による広報 ◎各種協会事業を通じた普及 (3)労働環境改善委員会の開催 6回(8/5,10/7,11/5,12/2,2/3,3/3) (1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進部会の開催 5回(9/4,19,11/10,12/17,1/16) ◎WLBワークショップ事業 ・事前研修会の開催(7/29 新規3施設 参加者16名) インデックス調査のみ参加(市川市リハビリテーション病院) ・WLBワークショップの開催(ワークショップ参加2施設:東邦大学医療センター佐倉病院、柏厚生総合病院) 日時:9月18日(木)、19日(金)10:00~15:30 千葉県看護会館 内容:講演、ワークショップ(アクションプランの作成) 参加者:新規2施設、継続4施設(13名)、傍聴者2日間延48名 ・WLBフォローアップワークショップの開催 日時:平成27年1月16日(金)9:30~15:30 参加者:新規2施設15名、2年目4施設8名、傍聴者60名 計83名 ・情報交換会の開催 日時:平成26年7月17日(木)参加者:取組み2,3年目施設 8名 平成27年3月10日(木)参加者:取組み1~3年目施設21名 ◎3年目評価会議の開催 日時:平成26年12月17日(水)14:00~16:00 内容:進捗状況の評価・発表、 参加者:3年目4施設11名・推進部会7名、傍聴者3名 計21名 ・WLB推進事業報告書の発行(7月)1,000部 ◎インデックス調査(調査のみ参加施設等の支援) ◎その他 平成26年度第2回施設等会員代表者会(平成27年1月20日) WLB事業報告「WLBの推進に取り組んだ千葉県内の病院の看護職の働き方と離職率の変化について」 WLB推進部会委員 聖路加国際大学看護学部教授 吉田千文氏 講演 「多様な勤務形態による就業促進」 社会福祉法人明和会医療福祉センター 法人本部人事・企画調整主幹 竹中君夫氏 (2)看護職員の就業環境改善事業(千葉県委託) ①看護職員の就業環境改善事業Ⅰ (「多様な勤務形態に関する啓発、導入等」に係る研修) 7回 看護職員の就業環境改善事業Ⅱ (「雇用の質の向上のための取組み等」に係る研修) 10回 ◎相談窓口開設事業 160件 ◎アドバイザー派遣事業 25件 (1)出前授業(いのちの大切さ教育) 目的:小学校・中学校・高等学校に看護職が出向いて生徒にいのちの大切さや看護について聞く機会を提供する 内容:いのちの大切さについて、看護について等 実施数:16校(高校5校、中学校11校)1校の複数回実施校あり(3回) 参加者:2,199名 (2)ふれあい看護体験事業 目的:高校生等が看護を実践している場面の見学や体験を通して看護を実感することにより、看護について関心や理解を深めてもらう 協力施設:85施設、実施施設:72施設 参加者:614名(中学生3名、高校生590名、大学生1名、社会人20名) (3)進路相談事業 ①進路相談:161名(高校生70名、一般41名、教師33名、保護者15名、その他2名(面接、電話、郵送、FAX含む)) ◎出前授業:18回 2,199名(高校 5回 759名、中学校13回1,440名)再掲

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
◎ 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材の確保・定着に関する事業	4. ナースセンター事業(千葉県委託) (1)看護職の定着・確保に係る実態調査 ①看護職の定着確保動向調査 ②看護職の再就業者実態調査 (2)看護職の無料職業紹介 (3)未就業看護職の就業支援 ①就業相談推進アドバイザーの雇用 ②ハローワークにおける就業相談 ③看護職再就業講習会の開催 ④看護基礎技術講習会 ⑤合同就職説明会の開催 ⑥看護職への求人情報の提供 (4)ナースセンター事業の広報 (5)ナースセンター運営委員会の開催 年1回 (6)関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等） (7)「看護の日」に知事表彰授与を県と共催 (8)看護進路相談事業(再掲) (9)ナースセンターの維持管理 5. 医療・看護における安全対策 (1)医療・看護に関する相談支援、情報提供	(1)看護職の定着・確保に係る実態調査 ◎①看護職の定着確保動向調査 対 象：ア 看護管理者 283施設（回答数177施設・回答率62.5%） イ 未就業求職者 184名（回答数73名・回答率39.7%） ウ フレッシュセミナー受講者 1,326名（回答数1,306名・回答率98.5%） 調査時期：◎①看護管理者・◎②未就業求職者 平成26年10月1日～10月15日 フレッシュセミナー受講者 平成26年10月7、8、9、10、14、15、16、17、20日、12月19日 調査結果：・離職率 常勤看護職員11.3% 新卒看護職員7.6% ・離職理由 第1位：出産育児のため 第2位：人間関係 第3位：転居 ◎②看護職の再就業者実態調査 135名（回答数72名・回答率53.3%） 対 象：平成25年度千葉県ナースセンター登録の再就業者で臨時雇用にて就業した者を除く135名 調査時期：平成26年9月5日～9月25日 調査結果：・就職時の就業状況：未就業（52.8%）、就業（転職）（47.2%） ・未就業者 （病院36.0%、診療所28.0%）、就業（転職）（病院21.4%、診療所25.0%） ◎②看護職の無料職業紹介 新規求人数：2,023件 新規求職者数：1,181件（うち未就業500件） 就職者数：464件（うち未就業131件） ◎③未就業看護職の就業支援 ◎①就業相談推進アドバイザーの雇用 雇用期間：平成26年6月1日～平成27年3月31日 雇用内容：ハローワークにおける就業相談等 ・看護基礎技術講習会 ・ナースセンター就業相談 ◎②ハローワークにおける就業相談 ハローワークちば 月2回（6月～H27.3月） 39名 ハローワーク松戸 月1回（7月～H27.3月） 21名 ハローワーク木更津 月1回（9月～H27.3月） 10名（計70名、就業者3名） ◎③看護職再就業講習会の開催 参加者 2施設（さつき台病院、幸有会記念病院）、2名（現在就業に向けて活動中） ◎④看護基礎技術講習会（採血・留置針法） 開催31日（5～H27.3月、参加者数52名、就業者17名、就業率32.70%） ◎⑤合同就職説明会の開催（参加求職者 73名、参加施設数53施設） 柏 地区：開催日6月5日 参加求職者19名 参加施設16施設 長夷地区：開催日11月7日 参加求職者17名 参加施設11施設 市原地区：開催日11月19日 参加求職者14名 参加施設 8施設 利根地区：開催日1月22日 参加求職者11名 参加施設 8施設 安房地区：開催日2月2日 参加求職者 5名 参加施設 3施設 山武地区：開催日2月26日 参加求職者 7名 参加施設 7施設 就業者数9名 就業率12.3% ◎⑥看護職への求人情報の提供(年4回発行) 発行日：第1回 平成26年 5月20日、第2回 平成26年8月18日、 第3回 平成26年11月20日、第4回 平成27年2月23日 発行数：各500部 配布先：未就業求職者、ハローワーク等関係機関、来所者等 ◎④ナースセンター事業の広報 ・協会機関誌、協会ホームページ等 ・壁面看板の設置(7月) ・リーフレット配布：県内病院、ハローワーク等関係機関、求人施設、就職者等 ◎⑤ナースセンター運営委員会の開催 1回 平成26年10月15日開催(委員12名、事務局6名出席) ◎⑥関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等） ◎①ナースセンター事業担当者会議 1回 (9/10) ◎②都道府県ナースセンター第5次NCCS進捗報告会 1回 (9/11) ◎③千葉県福祉人材センター主催 福祉のしごと・inちば 2回 (7/13) 5名、 (11/9) 0名 ◎④千葉公共職業安定所主催「福祉人材就職面接会」 1回 (11/14) 4名 ◎⑦「看護の日」に知事表彰授与を県と共催 ◎⑧看護進路相談事業(再掲) ◎⑨ナースセンターの維持管理 空調整備、点検、ナースセンターの壁面案内看板の設置（再掲）、雨漏り修繕、駐車場看板修繕 ◎①医療・看護に関する相談支援、情報提供 ・相談件数 1件(相談内容：立位でのグリセリン浣腸は、禁忌事項か注意喚起事項か) ・顧問弁護士による看護ちばへの情報提供4月号（内容：看護業務と法律）、 7月号（内容：MRIと磁性体金属）、10月号（内容：看護記録の（不）記載と医療訴訟—前編）、1月号（内容：看護記録の（不）記載と医療訴訟—後編） ・看護ちばの「医療安全シリーズ」抜粋冊子を会館内へ設置、及びホームページに追加掲載 ・ホームページ等による最新情報の提供(医療安全情報の充実・関連情報リンクの添付)

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材の確保・定着に関する事業	<p>(2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催</p> <p>②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集</p> <p>・ポスター等による普及啓発</p> <p>(3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者交流会</p> <p>(4)関係機関等との連携促進</p> <p>(5)医療安全委員会の開催 年6回</p>	<p>(2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 日 時：11月3日(月・祝) 11:00～15:40 場 所：幕張メッセ国際会議場 テーマ：多職種連携で前進する医療安全 内 容：医療安全に関する標語表彰式 医療安全に関する標語の優秀賞1名、佳作2名の表彰 基調講演 「医療版失敗学」のすすめ～インシデントから学び、真の医療安全にトライする～ 講師：濱口 哲也（東京大学大学院工学系研究科特任教授） パネルディスカッション 医療版失敗学を多職種で取り組むためには パネリスト：医師 長谷川 讓（東京慈恵会医科大学附属柏病院） 薬剤師 小坂 好男（東京女子医科大学附属八千代医療センター） 臨床工学技士 堀 和芳（国保小見川総合病院） 看護師 遠山 美智子（国保直営総合病院君津中央病院） 医療安全対策関連企業の展示及び説明（7社） 参加者：527名（一般参加：444名[看護職357名：他職種87名]、関係者：83名）</p> <p>②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 応募総数：522作品 優秀賞：「つなげよう多職種の手 広げよう安全の輪」 成田赤十字病院 医療安全推進室 佳 作：「多職種で 高める意識 防ぐ事故」 東邦大学医療センター佐倉病院 武笠智美 「多職種の心をひとつに安全文化」 玄々堂君津病院 安全対策委員会</p> <p>・ポスター等による普及啓発 優秀標語と優秀賞受賞施設職員の写真を組み合わせたポスター4,500枚を作成し、県内病院及び会員施設へ配布</p> <p>(3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者交流会 日 時：2月26日(木) 10:00～16:00 場 所：千葉県看護会館2階大研修室 内 容：講演Ⅰ千葉県における医療安全対策の現状と課題 講師：斎藤徹也（千葉県健康福祉部医療整備課医療指導班班長） 講演Ⅱ医療事故調査制度の概要と法的観点からの医療事故発生時の対応 講師：稲葉一人（中京大学法科大学院教授） グループワーク「医療安全担当者として活動している上での悩み、課題」 参加者：106名（一般参加：94名、関係者：12名）</p> <p>(4)関係機関等との連携促進 ・医療安全推進会議（11月13日）日本看護協会主催 ・医療安全全国フォーラム2014（11月23日）医療安全全国共同行動主催</p> <p>(5)医療安全委員会の開催 6回（7/31、8/26、9/16、10/23、12/4、2/5）</p>
③ 訪問看護の推進に関する事業	<p>1. 訪問看護推進事業（千葉県委託） (1)訪問看護推進協議会の開催</p> <p>(2)訪問看護に関する総合相談の実施</p> <p>(3)訪問看護の普及啓発事業 ①ケアマネジャーとの連携強化 （地区単位：2箇所開催）</p> <p>②訪問看護フォーラムの開催</p>	<p>(1)訪問看護推進協議会の開催（年2回、委員14名） 第1回 日 時：11月14日(金) 18:30～20:00（委員13名、オブザーバー2名、事務局6名） 第2回 日 時：3月9日(月) 18:30～20:00（委員12名、オブザーバー2名、事務局6名）</p> <p>(2)訪問看護に関する総合相談の実施 相 談 日：月～金 9:00～17:00 相談件数：85件 相 談 者：看護師、介護支援専門員等専門職（訪問看護サービス等に関すること） 県 民（介護に関すること）</p> <p>(3)訪問看護の普及啓発事業 ①病院・施設看護職、ケアマネジャーとの連携強化（地区単位：2箇所開催） 君津地区 日 時：9月13日(土) 13:30～16:30 場 所：君津中央病院4階講堂 対 象：君津保健医療圏内の病院等・訪問看護ステーション在勤の看護職、君津保健医療圏内在勤の介護支援専門員 テーマ：看看ケアマネ連携「一緒に、利用者さんの生活を考えませんか」 内 容：グループディスカッション、全体討議 参加者：61名 千葉地区 日 時：1月17日(土) 13:30～16:30 場 所：千葉県看護会館大研修室 対 象：千葉保健医療圏内の病院等・訪問看護ステーション在勤の看護職 テーマ：看看連携「一緒に利用者さんの退院後の生活を考えませんか」 内 容：講演、グループディスカッション 参加者：44名</p> <p>②訪問看護就職フェアの開催 日 時：12月13日(土) 12:30～17:00 場 所：千葉県看護会館 大研修室・中研修室 テーマ：「訪問看護師になりたいあなたを応援します」 ～新卒・子育て中で現場を離れていても・介護中でも大丈夫！～ 内 容：「あなたの笑顔とケアを訪問看護に活かせませんか」 講師 日本訪問看護財団 認定看護師教育課程（訪問看護）主任教員 平野和恵 「千葉県の訪問看護ステーションは頑張っています」 講師 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 会長 権平くみ子 訪問看護就職相談・訪問看護実践センター事業説明・技術体験 対 象：看護学生、県内外看護系大学及び県内看護師等学校養成所の教員、潜在看護師（就職相談コーナー16事業所） 参加者：112名（一般71名、事業所等28名、講師等13名（内2名就労）</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
◎ 訪問看護の推進に関する事業	<p>③訪問看護サービスの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの改定 ・普及活動 <p>2. 訪問看護推進事業（協会独自事業）</p> <p>(1)訪問看護師人材育成事業</p> <p>①訪問看護師育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 <p>・訪問看護師指導者研修会の開催</p> <p>・訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催</p> <p>②訪問看護師スキルアップ研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質を高める研修会の開催 <p>・管理者研修の開催</p>	<p>③訪問看護サービスの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの改定 ・普及活動 <p>県民向けリーフレット「マイ・ナースとつくる安全で安心な在宅での生活」 看護の日（5/17）に中央行事（千葉地区）と11地区部会行事で1,400部配布 専門職向けリーフレット「訪問看護の手引き」一部改正（69,000部配布） （配布先）病院、診療所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、健康福祉センター、市町村、訪問看護ST、看護学校等</p> <p>(1)訪問看護師人材育成事業</p> <p>①訪問看護師育成事業</p> <p>ア「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象者：新卒1年目2名、新卒2年目1名、潜在等8名（うち昨年度からの継続2名）計11名、6ヶ所の訪問看護ステーション 支援終了者8名、継続者3名 支援内容：振り返りカンファレンス 68回、学習支援者会議 36回 看護技術研修 14回（褥瘡 1回、膀胱留置カテーテル 1回、吸引 3回、摘便 2回、制度 3回、胃瘻2回、採血 1回、関節可動域訓練 1回） 訪問看護実践研修5コース（うち外部研修3コース） 実務研修5ヶ所（わかば訪問看護ステーション、船橋二和病院、つばさ在宅クリニック、さつき台訪問看護ステーション、訪問看護ステーションたんぼぼ） ・育成プログラムの評価会議の開催 第1回目 6月30日（月）18：00～20：00 第2回目 2月17日（火）18：00～20：00 議 事：新卒者等訪問看護師育成プログラム評価について ・育成プログラム普及のための訪問 4ヶ所 （訪問看護ステーション3ヶ所、大学1ヶ所） ・育成プログラムに関する問い合わせ 支援対象者17件（新卒5名、既卒3名、潜在3名、異動・転職6名） 支援者からの問い合わせ13件（新卒4件、既卒1件、潜在2件、異動・転職6件） 他県看護協会等からの問い合わせ20件 （視察・取材等6件、電話5件、プログラム送付9件） <p>イ 訪問看護師指導者研修会の開催</p> <p>日 時：2月21日（土）9：30～16：00 研修内容：指導者としての役割、教育的役割に関する研修 受講者数：30名</p> <p>ウ 訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催</p> <p>研修期間：7月～2月 受講者：44名（全課程修了 42名） 研修内容：訪問看護eラーニング（7月～11月）、開講式（7/2） 講義1「訪問看護展開論」（7/2） 講義2「訪問看護におけるフィジカルアセスメント」（11/15）（※公開研修として実施 54名参加） 講義3「在宅ターミナルケア」（2/13） 実習2日間（12月～1月） （26ヶ所の訪問看護ステーション）、閉講式（2/13）</p> <p>②訪問看護師スキルアップ研修会</p> <p>ア 質を高める研修会の開催</p> <p>日 時：6月14日（土）9：30～16：00 研修内容：神経難病看護～ALSを中心に～ 「神経難病疾患の理解と在宅療養支援のポイント」 講師 黒砂台診療所 所長 沖田伸也 「ALS利用者への訪問看護の実際～在宅療養生活を維持していくためのケアについて～」 講師 看護協会ちば訪問看護ステーション 豊田智生 受講者数：57名</p> <p>日 時：10月25日（土）9：30～16：30 研修内容：基礎から学ぼう小児訪問看護 ～病棟・在宅に共通する小児看護の役割・目標～ 「小児看護 病棟・在宅に共通する役割と目標」 講師 千葉大学大学院看護学研究科 教授 中村伸枝 「現場に活かす小児看護倫理」 講師 千葉県千葉リハビリテーションセンター 看護局長 荒木暁子 「障害のある子どもを持つ養育者の心理と訪問看護師の役割」 講師 医療法人社団麒麟会 統括マネージャー 谷口由紀子 受講者数：38名</p> <p>イ 管理者研修の開催</p> <p>日 時：8月30日（土）9：30～16：00 研修内容：訪問看護ステーション管理運営研修 「地域に選ばれる訪問看護ステーションになるための質評価と管理者の役割について」 講師 千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江弘子 「看護管理者の人材育成役割と方法及び千葉県看護協会・大学による支援の状況」 講師 千葉大学大学院看護学研究科 教授 吉本照子 「成人学習者としてのスタッフの的確なアセスメントにもとづく効果的な学習支援」 講師 千葉大学大学院看護学研究科 辻村真由子 受講者数：28名</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
③ 訪問看護の推進に関する事業	<p>③退院支援研修会</p> <p>(2)訪問看護ステーションIT化等推進事業</p> <p>①「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」導入支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及 <p>・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の導入支援</p> <p>②「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営診断、シミュレーションシステム <p>③訪問看護に係るデータベース化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会の設置（2回開催） ・データの収集 <p>(3)訪問看護実践センター事業の普及啓発学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師人材育成事業 ・訪問看護ステーションIT化等推進事業 <p>3. 関係機関との連携</p> <p>(1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携</p> <p>(2)医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携</p>	<p>③退院支援研修会</p> <p>研修期間：講義7/25、7/26、9/9 実習8/1～9/5のうち1日</p> <p>研修内容：「在宅医療の現状と退院支援に関する基礎知識」</p> <p>講師 聖路加国際大学 教育センター生涯教育部長 山田雅子 「退院調整を行う病院（看護師）の立場から」</p> <p>講師 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 看護師長 加瀬千鶴 「訪問看護ステーション、ケアマネジャー、訪問診療医師の立場から」</p> <p>講師 カンナ訪問看護ステーション 所長 柴崎ゆかり カンナ訪問看護ステーション ケアマネジャー 福井みさ江 のぞみの花クリニック 医師 古賀友之 「臨地実習報告会、退院時共同カンファレンスについて」</p> <p>講師 船橋中央病院 退院支援室 伊藤孝行</p> <p>受講者数：76名</p> <p>(2)訪問看護ステーションIT化等推進事業</p> <p>①「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」導入支援事業</p> <p>ア「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト導入事業所 15事業所 ・パンフレットの配布 千葉県健康福祉部保険指導課、千葉市保健福祉局高齢障害部介護保険課を訪問し配布を依頼 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会総会の際に配布を依頼 ・ソフトについての説明・展示 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会総会（5/10）での説明 訪問看護師人材育成事業の研修会「神経難病看護（6/14）、訪問看護ステーション管理運営研修（8/30）」での展示 千葉県看護研究学会（2/20）で展示説明 ・看護ちばへの記事掲載 ソフトを導入した「訪問看護ステーションゆい」の記事を7月号に、「いこい訪問看護ステーション茂原」の記事を1月号に掲載 看護協会未加入事業所（141ヶ所）へ看護ちば7月号、ソフトパンフレット、入会申込書を同封し送付 ・ソフトに関する問い合わせ状況 14件（ソフトの機能の詳細、試用したい等） <p>イ「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の導入支援</p> <p>ソフト試用を希望する訪問看護ステーションに対し、iPadを貸出</p> <p>保有台数：8台（iPad6台、mini2台） 貸出期間：最長1ヶ月間 貸出台数：1事業所当たり4台まで 貸出状況：8事業所、29台</p> <p>②「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営診断シミュレーションシステム 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会総会（5/10）で説明 看護協会会員事業所（93ヶ所）へ経営診断シミュレーションシステムを使用するための操作マニュアル、ログイン情報「アカウント、パスワード」を送付（7/8） <p>③訪問看護に係るデータベース化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護に係るデータベース化事業検討委員会設置（委員6名） 開催状況：4回（8月21日（木）、9月25日（木）、11月10日（月）、1月21日（水）） 議事：・訪問看護に係るデータベース化事業について ・訪問看護の質的評価の評価指標について ・データの収集：データ項目数20 <p>(3)訪問看護実践センター事業の普及啓発学会発表</p> <p>第45回（平成26年度）日本看護学会 看護教育 9月17日（水）、18日（木）／新潟県・新潟コンベンションセンター 「新卒者等訪問看護師育成プログラムを受けた新卒者の学習行動」 在宅看護 10月2日（木）、3日（金）／山形県・山形テルサ 「業務効率化に向けて開発した千葉県看護協会版訪問看護ソフトの効果について」</p> <p>(1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携</p> <p>(2)千葉県訪問看護ステーション連絡協議会との合同会議</p> <p>第1回：7月29日（火）18：00～20：00 看護師確保定着について 第2回：2月23日（月）18：00～20：00 訪問看護推進について</p>
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	<p>1. 「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>(1)第24回県民が集う「看護の日」事業</p> <p>【テーマ】 地域で輪となりつなげる看護</p> <p>【月日】 平成26年5月17日（土）</p> <p>①場所 中央行事 地区部会行事</p> <p>②内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AED体験 ・乳がんモデルを使用した乳がん自己検診法 ・訪問看護等について <p>③実行委員会の開催（3回）</p>	<p>(1)第24回県民が集う「看護の日」事業</p> <p>【テーマ】 地域で輪となりつなげる看護</p> <p>【月日】 5月17日（土）</p> <p>①場所 中央行事（千葉地区部会と共同開催）：アパホテル&リゾート東京ベイ幕張地区部会行事：11地区部会</p> <p>②内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AED・救急対応、乳がんモデルを使用した乳がん自己検診法、訪問看護の紹介 <p>参加人数：中央行事 589名（内県民165名：28%） 地区部会行事 延べ5,905名</p> <p>③実行委員会の開催 3回（7/31、10/20、1/20）</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	<p>2. 「まちの保健室」事業</p> <p>(1)常設型の開催</p> <p>①地区部会：12地区部会</p> <p>②協 会：千葉三越</p> <p>(2)イベント型の積極的な開催</p> <p>3. 自殺予防対策（千葉県補助事業）</p> <p>(1)心の総合相談</p> <p>①専用電話・専用メールによる相談対応</p> <p>②自殺予防に関する広報</p> <p>(2)人材育成研修の開催（再掲）</p> <p>①「うつ傾向にある患者の早期発見と関わり方」（再掲）</p> <p>②「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」（再掲）</p> <p>4. たばこ対策事業</p> <p>(1)禁煙のための相談支援</p> <p>(2)たばこに関する健康教育の普及啓発</p> <p>①普及啓発運営委員会の開催 年2回</p> <p>②看護学校への普及啓発</p> <p>・看護学生への「たばこに関する健康教育」出前授業</p> <p>・看護学生対象、地域住民等に対する健康教育活動</p> <p>③新人看護職への普及啓発</p> <p>(3)禁煙支援者の育成（再掲）</p> <p>5. 千葉県小児救急電話相談事業</p> <p>(1)相談員の登録・管理</p> <p>(2)相談員の勤務調整</p>	<p>(1)常設型の開催</p> <p>①地区部会：10地区部会 開催回数：63回 参加者数：延 5,094名 会 場：①アリオ蘇我（千葉） ②ユニモちはら台（市原） ③市川市中央図書館（市川） ④道の駅しょうなん（東葛） ⑤ボンベルタ成田（印旛） ⑥ふれあいパーク八日市場ほか（利根） ⑦東金サンビシア（山武） ⑧茂原アスモ（長夷） ⑨イオンタウン木更津朝日（君津） ⑩イオン鴨川店ほか（安房）</p> <p>②協 会：千葉三越 7月9日（水）「夏を楽しむために～健康的なダイエット食～」 講師：管理栄養士 ミニ講話 7名、相談3名 10月8日（水）「座って健康太極拳～6つの動きで生き生き～」 講師：看護師 ミニ講話24名、相談10名 12月10日（水）「身近な病気の認知症について学びましょう～疾患別認知症の特徴を知り、支援に役立てましょう～」 講師：認定看護師 ミニ講話12名、相談4名 2月11日（水祝）「認知症の予防について～認知症の発症を遅らせて生き生きと暮らすために～」 講師：認定看護師 ミニ講話13名、相談8名</p> <p>(2)イベント型の積極的な開催</p> <p>①地区部会主催 開催回数：14回 参加者数：延 4,992名 会 場：14会場</p> <p>(1)心の総合相談</p> <p>①専用電話・専用メールによる相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数：534件（電話431件、メール102件、面接1件） ・相談者数：453名（県民399名、看護職35名、その他医療職・学生19名） ・主な相談内容：メンタルヘルス関連414件（身体健康問題183件、家庭関係149件、人間関係126件等） ・相談員研修：「ギャンブル依存症～治療法と解決策～」、「家族の働きかけの整理～本人支援のきっかけとして、借金への対応を中心に～」、「自殺対策相談支援者研修会」等に参加 ・会議等：「平成26年度 自殺対策官民連携協働ブロック会議」（11/7） 「平成26年度千葉県自殺対策連絡会議」（1/27） 「電話相談に関する情報交換会」（2/27） <p>②自殺予防に関する広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページおよびカード式広告による「心の総合相談窓口」の周知 <p>(2)人材育成研修の開催（再掲）</p> <p>①「うつ傾向にある患者への関わり方」（12月12日）（再掲） 98名（定員100名：申込135名・決定101名・修了96名）</p> <p>②「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」（12月10日）（再掲） 128名（定員100名：申込138名・決定132名・修了126名）</p> <p>(1)禁煙のための相談支援</p> <p>(2)たばこに関する健康教育の普及啓発</p> <p>①普及啓発運営委員会の開催 年2回</p> <p>第1回 日時：7月1日（金）16：30～18：30 たばこ対策事業2ヶ年計画について等 第2回 日時：1月26日（月）9：30～11：00 平成26年度たばこ対策事業実績報告および今後の方針について</p> <p>②看護学校への普及啓発</p> <p>ア 看護学生への「たばこに関する健康教育」出前授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業：3校実施（申込4校中、1校は日程調整不可でキャンセル） ・教員講義：10校実施 ・受講学生数：485名 <p>イ 看護学生対象、地域住民等に対する健康教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加校：14校（学校内活動10校10イベント、学校外活動6校9イベント） ・活動参加学生数：244名、イベント来場者数：2,366名 <p>③新人看護職への普及啓発</p> <p>ア 新人看護職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレッシュセミナー：1,390名 <p>イ たばこに関するアンケート調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答者：1,387名（回収率：99.8%） ・喫煙率：11.7%（男性：28.2%、女性：9.6%） <p>(3)禁煙支援者の育成（再掲）</p> <p>「禁煙支援者研修」（2月24日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・38名（定員40名：申込46名・決定41名・修了38名） <p>(1)相談員の登録・管理</p> <p>相談日：365日 19：00～22：00 相談体制：看護師3名（土日祝日4名）、後方支援医師1名 登録相談員：22名 相談件数：18,537件、97.75%看護師の相談のみで解決</p> <p>(2)相談員の勤務調整</p> <p>2ヶ月毎に勤務表作成</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	(3)相談員研修会の開催 (4)小児救急電話相談事業運営協議会への出席 6. 災害支援対策事業 (1)災害支援ネットワークの強化 ①千葉県看護協会災害対策本部の設置 ②災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 ③平常時における連携 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 (2)災害に備えた支援体制の整備 ①災害支援ナースの登録促進 ②災害支援ナースの登録・管理 ③災害時の災害支援ナースの派遣調整 ④災害時必要物品の管理 (3)災害支援ナースの育成 ①災害看護研修（基礎編・実践編）（再掲） ②災害支援ナース更新要件研修、訓練等	(3)相談員研修会の開催 ①登録相談員の研修会 第1回 日時：11月9日（日）13：00～17：15 場所：看護会館2階中研修室 内容：#8000に対するアンケート調査の結果報告 講師 千葉県小児科医会 会長 猪股弘明 小児アレルギー性疾患と対処法について 講師 さとうこどもクリニック院長 佐藤好範 研修会参加報告（小児救急電話相談スキルアップ研修会 基礎・実践コース） 事例検討～判断に迷う事例、対応に困った事例～ 参加者：25名（相談員19名、小児科医師3名、事務局3名） 第2回 日時：2月21日（土）13：00～15：00 場所：看護会館2階中研修室 内容：子どもの定期予防接種の概要 講師 千葉県健康福祉部疾病対策課 感染症予防班 班長 宇崎めぐみ 子どもの定期予防接種の実際 講師 鎌ヶ谷市健康福祉部健康増進課 副主幹 本間 恵 研修会参加報告（小児救急電話相談対応者研修） 参加者：21名（相談員15名、小児科医師1名、講師2名、事務局3名） ◎外部研修会 ・小児救急電話相談スキルアップ研修会 （日本小児保健協会 6/20、9/22、23）受講者：2名 ・小児救急電話相談対応者研修（厚生労働省医政局 11/15）受講者：1名 (4)小児救急電話相談事業運営協議会への出席 年1回（3/26） (1)災害支援ネットワークの強化 ①千葉県看護協会災害対策本部の設置 ②災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 ③平常時における連携 ア 県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 9月2日～9月4日 日本看護協会合同派遣訓練（災害支援ナース派遣調整） 参加施設：災害支援ナース所属施設63施設、派遣候補者122名、派遣決定者122名 協会内にて災害対策本部設置訓練（協会内全部門参加）、訓練実施を千葉県に通知 イ 九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 ・九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練 9月6日（土）南房総市 和田地域福祉センター前 安房地区部会看護職15名参加（内、災害支援ナース1名） 9月4日（木）リハーサル 安房地区部会看護職11名参加 ・千葉市会場訓練 8月31日（日）みつわ台中学校 千葉地区部会看護職2名参加 ・船橋市総合防災訓練 8月31日（日）船橋市消防署及び市内54小学校 船橋地区部会看護職58名参加 ・千葉市シェイクアウト訓練 9月1日（月）看護会館（研修生含む）・ナースセンター・ちば訪問看護ステーション 138名参加 ウ 日本看護協会との「災害支援ナース派遣に関する協定」の締結（7月1日付） エ 日本看護協会主催の「平成26年度都道府県看護協会災害看護担当者会議」への出席（7/30） オ 千葉県主催の「災害医療看護マニュアル等の整備に係る会議」への出席（7/3、8/11、9/16、11/13） カ 指定地方公共機関への指定（災害対策基本法第2条第6項に基づく千葉県からの指定）（2月27日付） キ 「千葉県防災会議」への出席（指定地方公共機関への指定により、会長が委員に就任）（3/23） ク 「千葉JRAT（仮称）の組織化に向けた検討会」への出席（3/23） (2)災害に備えた支援体制の整備 ①災害支援ナースの登録促進 災害看護研修基礎編実施時（7/11）、実践編実施時（3/5）に登録の呼びかけ ②災害支援ナースの登録・管理 災害支援ナース登録者 226名（3月末現在） 新規会員施設への「災害看護対応マニュアル」、新規登録者への「災害支援ナース必携マニュアル」の追加発送 システム改修 3/17完了 ◎登録更新が可能なシステム、◎入力項目の追加 等 災害支援ナース登録証用の写真撮影 ③災害時の災害支援ナースの派遣調整 ④災害時必要物品の管理 不足・期限切品の補充（ヘルメット・アルファ米・圧縮タオル・ウェットティッシュ・下着セット・LEDライト懐中電灯他） (3)災害支援ナースの育成 ①災害看護研修（基礎編・実践編）（再掲） 災害医療と看護（基礎編）7/10～7/11 修了159名 災害医療と看護（実践編）3/4～3/5 修了71名 ②災害支援ナース更新要件研修、訓練等 「災害支援ナースフォローアップ研修会」 日時：2月17日（火）9：30～17：00 場所：看護会館2階 大研修室 内容：講義「千葉県看護協会の災害支援体制について」 「災害支援ナースのメンタルヘルスについて」 GW「災害支援ナースのメンタルヘルスについて」 演習「災害支援ナース活動の実際～東日本大震災での支援活動から～」 出席者：95名（参加者83名、講師等8名、協会4名）修了82名

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	<p>7. 関係機関・他団体への協力 (1)研修会等への講師紹介や派遣</p> <p>(2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣</p>	<p>(1)研修会等への講師紹介や派遣 千葉県生涯大学校への講師派遣 12回（4/18、4/23、5/8、5/10、5/20、6/16、6/19、6/21、7/1、9/2、11/4、1/15） 内容：高齢期の健康管理（サクセスフルエイジング）</p> <p>(2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣 ・心のふれあいフェスティバル（5/8） ・がん予防展（9/13、9/14）、がん予防展inいすみ市（10/4） *測定コーナーは、イベント型「まちの保健室」として協力 ・千葉県千葉市精神障害者ソフトバレーボール大会（9/24） ・心の健康フェア2014inちば（11/5） ・健康ちば県民推進大会（11/15） ・地域移行支援（退院促進）セミナー（2/14）</p>
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	<p>1. 職能委員会(職能) (1)保健師職能委員会 年6回 (2)助産師職能委員会 年6回 (3)看護師職能委員会 年6回</p> <p>2. 職能集会・交流会(職能) (1)三職能合同集会</p> <p>(2)各職能別交流会 ①保健師交流会</p> <p>②助産師交流会（管理者、中堅）</p> <p>③看護師交流会(領域Ⅰ、領域Ⅱ)</p>	<p>(1)保健師職能委員会 6回（7/8、8/26、10/11、11/26、1/17、2/16） (2)助産師職能委員会 7回（7/24、8/27、10/30、11/12、1/29、3/19、3/27） (3)看護師職能委員会 7回（7/2、8/6、9/27、10/1、12/3、1/24、2/18）</p> <p>(1)三職能合同集会等 ①保健師職能集会（1/17）参加者 28名 千葉県看護会館2階中研修室 講演「分散配置と他部署連携」 ～統括保健師の役割と配置の促進に向けて～ 講師 国民健康保険中央会 参与 鎌形喜代美 氏 活動報告 ①「統括保健師の役割」 報告者 習志野市健康支援課 主幹 中村晴美 氏 ②「柏市の他部署連携について」 報告者 柏市こども福祉課 副参事 高木絹代 氏 交流会 「ワールドカフェ方式での交流会」 ②助産師職能集会（10/30）参加者 23名 千葉県看護会館2階中研修室 講演「助産師に求められる最新の感染管理」 講師 千葉西総合病院 感染管理認定看護師 山崎ゆかり 氏 グループディスカッション「自施設における感染管理の現状、及び今後の取り組み上の課題と方向性について」 ③看護師職能集会（9/27）参加者 59名 千葉県看護会館2階大研修室 講演「生き活きと看護できるために」 ～看護職のためのメンタルヘルスとストレスマネジメント～ 講師 船橋市立医療センター 精神看護専門看護師 菅原亜有美 先生 グループワーク「生き活きと看護できるために」</p> <p>(2)各職能別交流会 ①保健師交流会（10/11）参加者 50名 千葉県看護会館2階大研修室 講演「生涯を通じた健康支援」 ～それぞれの活動領域で専門性を発揮する～ 講師 ヘルスプロモーション推進センターオフィスいわむろ 代表 岩室紳也 氏 活動報告 ①地域保健から 浦安市健康福祉部社会福祉課 地域福祉推進係 河野好美 氏 ②職域保健から 君津健康センター 吉住次恵 氏 ③医療関係から 山之内病院健診センター 十枝英理 氏</p> <p>②助産師交流会管理者交流会 ・産科管理者交流会（12/3）参加者 22名 千葉県看護会館2階中研修室 講演「助産師実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢの認証申請に必要な取り組み」 講師 獨協医科大学病院 統括看護部長 佐山静江 氏 講師 慶應義塾大学病院 看護部長 菊地敦子 氏 グループディスカッション ～レベルⅢ認証申請に向けての自施設の取り組みと課題、情報共有と意見交換～ ・中堅助産師交流会（1/29）参加者 19名 千葉県看護会館2階中研修室 講演「子どもを亡くした女性と家族に伴走するケア」 講師 神奈川県立こども医療センター 看護局母性病棟 助産師 北園真希 氏 グループディスカッション「自施設におけるペリネイタル・ロスのケアの現状と課題について」</p> <p>③看護師交流会(領域Ⅰ、領域Ⅱ) ・看護師交流会(病院領域)（2/14）参加者 59名 千葉県看護会館2階大研修室 講演「地域包括ケアシステムの構築」 ～超高齢社会の医療・介護の制度政策とこれからの動向～ 講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 福井トシ子 氏 シンポジウム「地域包括ケアシステムの構築」 ・「千葉県の取り組みの状況」～千葉県の現状とこれからの動向～ シンポジスト 千葉県健康福祉部健康福祉政策課 主幹 館岡聡 氏 ・「千葉市の取り組みの状況」 シンポジスト 千葉市保健福祉局高齢障害部高齢福祉課 介護予防・認知症担当課長 富田薫 氏</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
<p>⑤ 看護に関する調査研究 看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業</p>	<p>④准看護師交流会</p> <p>3. 県行政等への要望・意見具申（看護制度） (1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (2)県議会等の活動への協力依頼等 (3)千葉県医療審議会等への参画</p> <p>4. 看護関連施策に対する提言（看護制度） (1)国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>(2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ③特定行為に係る看護師の研修制度（仮称）の普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域包括ケア病棟の紹介」～急性期病院における取組の現状～シンポジスト 谷津保健病院 副看護部長 鶴崎美優希 氏 ・「地域包括ケアシステム」～療養病棟における取組の現状～シンポジスト 佐倉厚生園 看護部長 伊藤 恵美 氏 グループワーク「地域包括ケアシステムにおけるそれぞれの役割を考える」 ・高齢者ケア施設で働く看護管理者交流会 (介護・福祉等施設、在宅等領域) (2/18) 参加者30名 千葉県看護会館2階大研修室 講演「高齢者ケア施設における看護管理者の役割」 講師 社会福祉法人吉田福祉会 法人看護係/吉田訪問看護ステーション 統括看護係長 服部美加 氏 グループワーク「介護施設における看護師の役割と課題について」 ④准看護師交流会 (1/24) 参加者27名 千葉県看護会館2階中研修室 講演「認知症のケアについて」 ～認知症を正しく理解し、日々のケアに役立てる～ 講師 松戸ニッセイエデンの園 認知症認定看護師 窪田妙子 氏 グループワーク 「進学について考えよう」 <p>(1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (8/27) (2)県議会等の活動への協力依頼等 (9/18) (3)千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議：76回、関係団体等会議：58回</p> <p>(1)国・日本看護協会等の要望・提言 日本看護協会代議員研修会への参加 (5/24)、日本看護協会通常総会への代議員26名の参加 (6/9、10) (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p> <p>③特定行為に係る看護師の研修制度（仮称）の普及</p>
<p>⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業</p>	<p>1. 訪問看護事業 (1)質の高い訪問看護の提供</p> <p>(2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>(3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実</p> <p>2. 居宅介護支援事業 (1)質の高いケアプランの提供</p> <p>(2)地域のネットワークづくり</p> <p>(3)利用者の申請代行</p> <p>3. 訪問看護の普及 (1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ (3)訪問看護実践センター事業への協力</p> <p>4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備 (1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>(2)サテライトの運営</p> <p>(3)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回</p> <p>(4)ちば訪問看護ステーション運営会議 年3回</p> <p>5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 (1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域の行事・交流会、連絡会への参加</p> <p>(2)利用者確保のための広報活動</p>	<p>(1)質の高い訪問看護の提供（以下、ちば訪問看護ステーションのみ） 利用者延数 742件、月平均62件（3月末現在常勤看護換算 8.5人） 訪問看護延回数 4,828回、月平均 402回</p> <p>(2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 在宅における看取り 11人、月平均0.9人 人工呼吸器装着患者 7人</p> <p>(3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実 緊急訪問延数 244件、月平均 20件（うち休日 93件） 休日予定訪問延回数 122回</p> <p>(1)質の高いケアプランの提供 ケアプラン作成延数 668件、月平均延 56件（3月末現在常勤看護換算 1.7人）</p> <p>(2)地域のネットワークづくり 居宅サービス事業者との連携の担当者会議 月平均 4回</p> <p>(3)利用者の申請代行 12件</p> <p>(1)訪問看護研修生の受入れ 7名(7施設) 延 11日間 (2)看護学生実習の受入れ 39名 (9校) 延 70日間 (3)訪問看護実践センター事業への協力 新卒看護師・1年目2名、既卒者2名 プリセプターの配置2名 学習支援会議、人材育成会議・実践センター専門部会等への参加 13回</p> <p>(1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>(2)サテライトの運営（柏） 利用者数延数 221件、月平均18件（3月末現在常勤看護換算 1.2人） 訪問看護延回数 1,044回、月平均87回</p> <p>(3)ちば訪問看護ステーション定例会議 11回 (4/15、5/27、6/24、7/15、9/9、10/21、11/18、12/16、1/27、2/17、3/17)</p> <p>(4)ちば訪問看護ステーション運営会議 8回 (7/9、7/22、8/25、10/22、11/26、12/4、1/18、3/27)</p> <p>(1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域の行事・交流会、連絡会への参加 訪問看護ステーション連絡協議会への参加 3回 居宅介護連絡協議会に参加 1回 地域の行事、交流会への参加 7回 指定地域の開業医、病院、ケアマネ等連絡協議会へ出席 6回</p> <p>(2)利用者確保のための広報活動</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
⑥ 実居指定居宅介護サービス事業に関する訪問介護事業に関する	6. 職員の資質向上 (1)事例検討会 (2)研修会・学会等への参加 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)	(1)事例検討会 月1回 (2)研修会・学会等への参加 12名(延32日間) 新人リフレッシュ研修等 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)
	⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	1. 地区部会活動事業 (1)地区部会活動 ①役員会 年5回程度 ②連絡会 年2回程度 ③研修会 年3回 ④まちの保健室の開催(再掲) ⑤「看護の日」「看護週間」事業(再掲) (2)看護職定着確保対策の推進
1. 情報提供・広報事業 (1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 ②ホームページの充実 ③協会パンフレット等の活用 (2)県民に対する健康情報等の提供 (3)広報委員会の開催年5回		(1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 4回(4月、7月、10月、1月)各26,000部、総会特集号の発行1回(5月) ②ホームページの充実 ・アクセス件数(年総計)：188,255件 ・協会ホームページのスマートフォン対応化 ③協会パンフレット等の活用：改編及び活用 (2)県民に対する健康情報等の提供 (3)広報委員会の開催 6回(7/25、9/12、10/17、11/28、1/30、3/13)
1. 会員サービス・福祉の充実 (1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病気見舞い (4)災害時の支援 (5)会員福利厚生サービス会社との契約		(1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 平成26年度千葉県看護協会会長表彰対象者(231名) (3)慶弔、病気見舞い(該当なし) (4)災害時の支援(該当なし) (5)会員福利厚生サービス会社との契約(利用件数 580件)
1. 組織運営に関する会議等の開催 (1)総会 年1回 ①日時：平成26年6月18日(水) ②場所：ホテルポートプラザちば (2)理事会 年6回 (3)施設等会員代表者会 年2回以上		(1)総会 ①日時：平成26年6月18日(水) ②場所：ホテルポートプラザちば 参加者348名(一般会員328名、役員20名)(委任状19,346件) ③議題 ・平成25年度事業報告・決算報告、監査報告について ・平成26年度役員等の選出について ・平成26年度千葉県看護協会スローガンについて ・平成27年度日本看護協会通常総会代議員等の選出について (2)理事会 7回(5/8、6/18、7/17、9/11、12/11、2/12、3/12) (3)施設等会員代表者会 2回 第1回目(7/17) ホテルポートプラザちば 参加者数 166名 看護職のワーク・ライフ・バランス推進カンゴサウルス賞表彰 議題 ・平成26年度千葉県看護協会事業及び運営について ・会費規程の改正について ・千葉県知事への要望について 講演 「ナースセンターの機能強化に向けて」 講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 松月みどり氏 映画 「ペコロスの母に会いに行く」(株式会社独立映画センター) 第2回目(1/20) ホテルポートプラザちば 参加者数 146名 議題 ・平成26年度事業の進捗状況について ・平成27年度事業推進にかかるスローガン・重点項目について ・看護職機能委員会の領域区分に伴う定款の変更等について WLB事業報告「WLBに取り組んだ千葉県内の病院の看護職の働き方と離職率の変化について」 報告者 WLB推進部会委員 聖路加国際大学看護学部教授 吉田千文氏 講演Ⅰ「多様な勤務形態による就業促進」 講師 社会医療法人明和会医療福祉センター 法人本部 人事・企画調整主幹 竹中君夫氏 講演Ⅱ「地域包括ケア病棟入院基本料の施設基準等について」 講師 厚生労働省関東信越厚生局千葉事務所 医療指導監視監査官 中村幸司氏 医療指導監視監査官 山内 敦氏

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
(7) その他 この法人が目的を達成するために必要な事業	(4)地区部会長会 年3回 (5)保助看護職能委員会 年6回程度 (6)推薦委員会 (7)常任委員会（再掲） 年6回程度 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増進委員会 (8)千葉県看護連盟との連携 2. 会員増の促進 (1)新規入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 (2)継続会員への勧奨 (3)再入会者への入会促進 (4)会員増進委員会の開催 年6回 3. 公益社団法人に係る届出事務 (千葉県知事等) (1)平成26年度事業計画・収支予算等の提出 (2)平成25年度定期報告 (事業報告・決算報告等) (3)役員等の変更登記及び届出 4. 日本看護協会との連携 (1)法人委員会・理事会 (2)職能委員長会 (3)日本看護協会通常総会代議員選出 5. 行政等との連携 (1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援 6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生 (1)研修の実施 (2)健康診断 7. 看護会館の維持管理に関する事業 (1)看護会館の保全等 ①安全管理 ・火災、防災訓練 ・消防用設備等の点検 ・設備の整備、点検 ②環境整備 ・エコの積極的な取組み	(4)地区部会長会 2回 (7/31、2/18) (5)保助看護職能委員会（再掲） (6)推薦委員会 5回 (8/29、10/23、12/17、1/15、3/19) (7)常任委員会（再掲） 教育委員会5回 (7/24、9/11、11/13、1/15、2/26)、 労働環境改善委員会6回 (8/5、10/7、11/5、12/2、2/3、3/3)、 医療安全委員会6回 (7/31、8/26、9/16、10/23、12/4、2/5)、 広報委員会6回 (7/25、9/12、10/17、11/28、1/30、3/13) 会員増進委員会6回 (8/28、9/25、10/23、11/27、1/22、2/26) (8)千葉県看護連盟との連携 合同研修会 (2回) 1回目 (7/25) 参加者96名（千葉県看護会館2階大研修室） 発表 「ベッドサイドから政治を変える」DVD 千葉県看護連盟青年部部长 杉浦大地 氏 講演 「診療報酬改正に伴う看護管理」 ～現場で生かせる看護管理の在り方～ 講師 前日本看護連盟副会長 大島敏子 氏 2回目 (2/14) 参加者 52名 (千葉市ビジネス支援センター・きぼーる13階会議室) 発表 「ベッドサイドから政治を変える」DVD 講演 「地域包括ケアの推進に向けて」～看護がつなぐ医療と介護～ 講師 公益社団法人日本看護協会 齋藤訓子 氏 座長 国保匠瑳市民病院 看護部長兼地域ケア部長 大木信子 氏 (1)新規入会の促進 会員数 24,967名 (3/31現在、前年比 832名増、うち新規会員 2,873名) ①新人看護職の入会促進（フレッシュセミナー等で入会の案内を実施） ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 (保健師だよりにて保健師への入会案内 8月、12月) (2)継続会員への勧奨 (3)再入会者への入会促進 (4)会員増進委員会の開催 6回 (8/28、9/25、10/23、11/27、1/22、2/26) (1)平成26年度事業計画・収支予算等の提出 (H25.3/31) (2)平成25年度定期報告（事業報告・決算報告等）(6/30) (3)役員等の変更登記及び届出 登記申請 (8/22)、届出(9/30) (1)法人委員会・理事会 法人委員会 5回(5/9、7/25、9/19、11/21、2/27)、 理事会 3回(5/9、7/24・25、9/19、11/20、2/26) 日本看護協会通常総会 (6/9、10)、 全国職能別交流集会 (6/11) (2)職能委員長会 2回 (8/1、3/7) (3)日本看護協会通常総会代議員選出 平成26年度代議員等事前研修会 (5/28)、 参加者（代議員24名、予備代議員16名） 平成26年度定時総会にて承認 (平成27年度代議員27名、予備代議員27名を選任、7/31報告) (1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援等（後援49件） (1)研修の実施 (2)健康診断 役職員対象（11～2月に実施） (1)看護会館の保全等 ①安全管理 ・火災、防災訓練 ・消防用設備等の点検 ・設備の整備、点検 看護会館2階大研修室前廊下カーテンの交換等 看護会館屋根の雨漏り修繕、空調設備の点検 看護会館ポーチタイル修繕 看護会館外壁懸垂幕撤去 看護会館下水管修繕（1月） ②環境整備 ・エコの積極的な取組み、節電節水の取組み

平成26年度決算報告

1. 会計基準について

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、本会の決算書は新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」に基づいて作成されることとなり、当該会計基準適用により以下のとおりとなっている。

*「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

(1) 会計区分について

会計区分については、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3会計区分にて構成されることとなった。

- ①「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。
- ②「収益事業等会計」は、収益事業である「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、相互扶助事業である「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。
- ③「法人会計」には、事業費以外の管理部門経費などが計上されている。

(2) 財務3基準について

公益社団法人には、法定要件として次の財務3基準を満たすことが求められる。

- ① 収支相償の原則（認定法第5条6号、第14条）
公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えてはならない。
- ② 公益目的事業比率（認定法第5条8号、第15条）
公益目的事業の費用が、事業費・管理費の合計額の50%以上でなければならない。
- ③ 遊休財産保有制限（認定法第5条9号、第16条）
遊休財産額（使途を定めない財産）が保有制限額（1年分の公益目的事業費相当額）を超えてはならない。

2. 平成26年度決算の概要

全体決算の規模は、収益で3.9億円（予算執行率100.52%）、費用で4.2億円（予算執行率96.76%）であり、主な点は以下のとおりである。

(1) 経常収益について

- ① 受取年会費については149,802千円を計上しており、予算と比較して168千円の増額となっている。なお、受取入会金・受取年会費については、会費規程に基づき、その50%を公益目的事業会計へ計上している。（残額は法人会計へ計上）
- ② 事業受託料は63,837千円で、予算と比較して1,215千円の増額となっている。
主な増額要因は、訪問看護推進事業受託料の増額等である。
- ③ 補助金・助成金は予算額と同額の12,174千円であった。

(2) 経常費用について

- ① 公益目的事業会計の経常費用の合計は342,277千円で、予算と比較して12,460千円の減額となっている。主な減額要因は、訪問看護ソフトの除却による当該ソフト減価償却費12,000千円の減額である。
- ② 収益事業等会計の経常費用の合計は5,047千円で、予算と比較して27千円の減額である。
- ③ 法人会計の経常費用の合計は70,570千円で、予算と比較して1,519千円の減額である。

(3) 当期経常増減額について

当期経常増減額は、26,699千円の減額となっている。主な要因は以下のとおりである。

- ① 平成27年度開催の看護教員養成講習会の事前準備など臨時的な費用増により、約1,600千円の減額である。
- ② 新卒看護師等の訪問看護師としての育成配備やサテライト柏の訪問看護実践など事業増加に備える先行投資により約25,000千円の減額である。
なお、①の事前準備については26年度限りで終了。②の育成配備については、概ね、2年で自立した訪問看護師として活動でき、増収が図れ、また、サテライト柏については、平成26年度をもって事業完了により、新運営主体へ移行し経費削減を図ったところである。

(4) 当期経常外増減額について

当期経常外増減額は、57,911千円の減額となっている。これは平成24年度から25年度にかけ補助事業により開発した千葉県看護協会版訪問看護ソフトについて平成26年度に資産計上したところであるが、平成25年度末に補助事業が終了していることから減額訂正しようとするものである。

(5) 平成26年度決算における財務3基準について

- ① 収支相償（概算）
公益事業経常収益292,637千円 - 公益事業経常費用342,277千円 = 公益事業経常増減額▲49,640千円
▲49,640千円 - 各種調整額合計6,706千円 = ▲56,346千円
*各種調整額合計・・・支出を伴わない費用や、費用計上されない支出などを調整したもの
→公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えていないため、基準を満たしている。
- ② 公益目的事業比率（概算）
公益事業経常費用342,277千円 ÷ (経常費用合計417,894千円 + 記念事業積立額400千円)
= 81.83% ≥ 50%
→公益目的事業の費用が、事業費・管理費等の合計額の50%以上であるため、基準を満たしている。
- ③ 遊休財産保有制限（概算）
平成26年度末遊休財産額194,612千円 ≤ 保有制限額342,277千円
→遊休財産額が保有上限額を超えていないため、基準を満たしている。

平成26年度 正味財産増減計算書 総合計

(単位：千円)

経常収益計	391,195
経常費用計	417,894
当期経常増減額	△ 26,699
当期経常外増減額	△ 57,911
正味財産期首残高	749,535
正味財産期末残高	664,925

平成26年度 正味財産増減計算書 収益の部

(単位：千円)

会計区分	科 目	決算額	予算額	増減額	執行率	
公益 目的 事業 会 計	受取入会金	17,238	17,160	78	100.45%	
	受取年会費	74,901	74,817	84	100.11%	
	研修会参加料	50,533	49,611	922	101.86%	
	事業受託料	看護職員の資質向上研修事業受託料（千葉県）	11,912	13,088	△ 1,176	91.01%
		インターネット配信研修受託料（日本看護協会）	659	678	△ 19	97.20%
		看護職員の就労環境改善事業受託料（千葉県）	4,910	4,910	0	100.00%
		ナースセンター事業受託料（千葉県）	28,652	28,652	0	100.00%
		訪問看護推進事業等受託料（千葉県）	15,898	14,260	1,638	111.49%
		小児救急電話相談事業受託料（千葉県）	1,086	1,034	52	105.03%
		助産師出向支援モデル事業受託料（日本看護協会）	720	0	720	—
		小 計	63,837	62,622	1,215	101.94%
	受取補助金等	教育助成金（日本看護協会）	9,184	9,184	0	100.00%
		看護の普及啓発助成金（日本看護協会）	100	100	0	100.00%
		自殺予防対策事業補助金（千葉県）	2,740	2,740	0	100.00%
		精神身体疾患併発患者研修事業助成金（千葉県病院協会）	150	150	0	100.00%
		小 計	12,174	12,174	0	100.00%
	受取寄付金	1,000	1,000	0	100.00%	
	その他事業収益（受取手数料・雑収益）	1,384	1,195	189	115.82%	
	特定資産受取利息及び雑収益（受取利息・雑収益） ※訪看・居宅事業分を除く	823	793	30	103.78%	
	訪問看護・居宅介護支援事業収益	71,581	71,245	336	100.47%	
公益目的事業 計（内部取引消去前）	293,471	290,617	2,854	100.98%		
内部取引消去	△ 834	0	△ 834	—		
公益目的事業 計	292,637	290,617	2,020	100.70%		
収益 事業 等 会 計	施設の貸与等 事業	481	482	△ 1	99.79%	
	販売手数料及び出版 広告料に関する事業	2,120	2,149	△ 29	98.65%	
	会員福利厚生等 に関する事業	152	146	6	104.11%	
	収益事業等 計	2,753	2,777	△ 24	99.14%	
法 人 会 計	受取入会金	17,238	17,160	78	100.45%	
	受取年会費	74,901	74,817	84	100.11%	
	会員管理受託料・総会代議員業務受託料（日本看護協会）	3,402	3,402	0	100.00%	
	特定資産受取利息及び雑収益	265	379	△ 114	69.92%	
	法人会計 計	95,806	95,758	48	100.05%	
経常収益計	391,195	389,152	2,043	100.52%		

平成26年度 正味財産増減計算書 費用の部

(単位：千円)

会計区分	定款事業	決算額	予算額	増減額	執行率		
公益目的事業	① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	生涯教育	77,165	75,940	1,225	101.61%	
		助産師出向支援モデル事業					
		千葉県看護研究学会					
		図書室の管理運営					
		委員会の開催					
	資質向上(県)	千葉県委託研修	17,259	17,188	71	100.41%	
		小計	94,424	93,128	1,296	101.39%	
	② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	第3次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	8,883	10,612	△ 1,729	83.71%
			看護職の労働環境の向上				
			看護進路相談事業				
		ナースセンター事業(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	28,690	28,652	38	100.13%
		医療看護安全	医療・看護における安全対策	6,837	6,914	△ 77	98.89%
		小計	44,410	46,178	△ 1,768	96.17%	
	③ 訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	訪問看護ステーションIT化等推進事業※訪問看護実践センター事業	3,376	16,567	△ 13,191	20.38%
			訪問看護実践センター事業の普及啓発※訪問看護実践センター事業				
			関係機関との連携				
		訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(千葉県委託)	16,632	15,090	1,542	110.22%
			訪問看護師人材育成事業(千葉県委託)※訪問看護実践センター事業				
		小計	20,008	31,657	△ 11,649	63.20%	
	④ 県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	「看護の日」「看護週間」事業	11,458	12,289	△ 831	93.24%
			「まちの保健室」事業				
自殺予防対策(千葉県補助事業)							
たばこ対策事業							
千葉県小児救急電話相談事業							
介護職員等対象喀痰吸引研修事業(千葉県委託)※委託取り止め							
関係機関・他団体への協力							
災害救護対策		災害支援対策事業	5,269	5,092	177	103.48%	
	関係機関・他団体への協力						
	小計	16,727	17,381	△ 654	96.24%		
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会	3,455	4,108	△ 653	84.10%	
		職能集会・交流会					
	看護制度	県行政等への要望、意見具申	649	647	2	100.31%	
		看護関連施策に対する提言					
	小計	4,104	4,755	△ 651	86.31%		
⑥ 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	96,703	99,619	△ 2,916	97.07%	
		居宅介護支援事業					
		訪問看護の普及					
		地域ニーズに応じた運営体制の整備					
		医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携					
		職員の資質の向上					
	小計	96,703	99,619	△ 2,916	97.07%		
⑦ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	地区部会	地区部会活動事業	11,494	11,236	258	102.30%	
	広報	情報提供、広報事業	12,906	13,658	△ 752	94.49%	
		小計	24,400	24,894	△ 494	98.02%	
公益目的事業共通	各公益目的事業に係る共通経費		42,336	37,125	5,211	114.04%	
	公益目的事業 計(内部取引等消去前)		343,112	354,737	△ 11,625	96.72%	
	内部取引消去等		△ 834	0	△ 834	—	
	公益目的事業 計		342,277	354,737	△ 12,460	96.49%	
収益事業等会計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費	603	605	△ 2	99.67%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業に伴う事業費	435	437	△ 2	99.54%	
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費	4,009	4,032	△ 23	99.43%	
		収益事業等 計	5,047	5,074	△ 27	99.47%	
法人会計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会、その他)		70,570	72,089	△ 1,519	97.89%	
	その他一般管理費						
	法人会計 計		70,570	72,089	△ 1,519	97.89%	
	経常費用 計		417,894	431,900	△ 14,006	96.76%	

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	311,319,822	245,978,667	65,341,155
未収入金	12,198,947	112,208,800	△ 100,009,853
立替金	0	88,725	△ 88,725
前払費用	847,381	800,317	47,064
流動資産合計	324,366,150	359,076,509	△ 34,710,359
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
役員退職慰労引当資産	4,000,000	0	4,000,000
退職給付引当資産	39,734,235	38,359,235	1,375,000
看護会館取得資産	262,646,244	237,753,208	24,893,036
車両運搬具取得資産	5,000,000	6,500,000	△ 1,500,000
記念事業積立資産	800,000	400,000	400,000
特定資産合計	312,180,479	283,012,443	29,168,036
(3)その他固定資産			
建物	363,185,658	362,483,658	702,000
構築物	35,220,427	35,220,427	0
車両運搬具	13,344,926	12,763,022	581,904
什器備品	70,000,194	74,548,486	△ 4,548,292
図書	30,501,215	30,372,552	128,663
リース資産	11,561,700	11,561,700	0
その他固定資産	23,495,370	79,605,099	△ 56,109,729
減価償却累計額	△ 343,804,577	△ 328,660,833	△ 15,143,744
電話加入権	1,186,490	1,186,490	0
保証金	110,000	110,000	0
リサイクル預託金	127,210	116,630	10,580
その他固定資産合計	204,928,613	279,307,231	△ 74,378,618
固定資産合計	517,109,092	562,319,674	△ 45,210,582
資産合計	841,475,242	921,396,183	△ 79,920,941
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	31,500	△ 31,500
リース債務	2,771,778	3,777,750	△ 1,005,972
前受金	5,652,000	5,616,000	36,000
前受会費	122,664,000	122,586,000	78,000
預り金	1,437,833	1,464,328	△ 26,495
流動負債合計	132,525,611	133,475,578	△ 949,967
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	4,124,640	6,786,111	△ 2,661,471
退職給付引当金	39,900,350	31,599,280	8,301,070
固定負債合計	44,024,990	38,385,391	5,639,599
負債合計	176,550,601	171,860,969	4,689,632
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	664,924,641	749,535,214	△ 84,610,573
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(268,446,244)	(244,653,208)	(23,793,036)
正味財産合計	664,924,641	749,535,214	△ 84,610,573
負債及び正味財産合計	841,475,242	921,396,183	△ 79,920,941

貸借対照表内訳表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目 \ 会計区分	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	148,959,563	565,278	161,794,981		311,319,822
未収入金	12,198,947	0	0		12,198,947
前払費用	231,500	0	615,881		847,381
他会計債権	0	5,061,924	154,118,268	△159,180,192	0
流動資産合計	161,390,010	5,627,202	316,529,130	△159,180,192	324,366,150
2. 固定資産					
(1)基本財産					
基本財産合計	0	0	0	△0	0
(2)特定資産					
役員退職慰労引当資産	3,088,800	21,200	890,000		4,000,000
退職給付引当資産	34,456,934	122,786	5,154,515		39,734,235
看護会館取得資産	218,337,826	840,467	43,467,951		262,646,244
車両運搬具取得資産	5,000,000	0	0		5,000,000
記念事業積立資産	0	0	800,000		800,000
特定資産合計	260,883,560	984,453	50,312,466	△0	312,180,479
(3)その他固定資産					
建物	179,424,421	8,530,951	175,230,286		363,185,658
構築物	17,444,870	2,570,123	15,205,434		35,220,427
車両運搬具	13,055,604	6,774	282,548		13,344,926
什器備品	59,670,323	241,972	10,087,899		70,000,194
図書	30,501,215	0	0		30,501,215
リース資産	10,745,357	19,111	797,232		11,561,700
その他固定資産	22,046,760	33,913	1,414,697		23,495,370
減価償却累計額	△202,911,960	△8,644,368	△132,248,249		△343,804,577
電話加入権	993,923	4,509	188,058		1,186,490
保証金	92,147	418	17,435		110,000
リサイクル預託金	115,030	0	12,180		127,210
その他固定資産合計	131,177,690	2,763,403	70,987,520	△0	204,928,613
固定資産合計	392,061,250	3,747,856	121,299,986	△0	517,109,092
資産合計	553,451,260	9,375,058	437,829,116	△159,180,192	841,475,242
II 負債の部					
1. 流動負債					
リース債務	0	0	2,771,778		2,771,778
前受金	2,826,000	0	2,826,000		5,652,000
前受会費	61,332,000	0	61,332,000		122,664,000
預り金	550,225	0	887,608		1,437,833
他会計債務	159,180,192	0	0	△159,180,192	0
流動負債合計	223,888,417	0	67,817,386	△159,180,192	132,525,611
2. 固定負債					
役員退職慰労引当金	3,185,027	21,857	917,756		4,124,640
退職給付引当金	34,604,709	123,210	5,172,431		39,900,350
固定負債合計	37,789,736	145,067	6,090,187	△0	44,024,990
負債合計	261,678,153	145,067	73,907,573	△159,180,192	176,550,601
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
指定正味財産合計	0	0	0	△0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産					
一般正味財産合計	291,773,107	9,229,991	363,921,543	△0	664,924,641
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(223,337,826)	(840,467)	(44,267,951)		(268,446,244)
正味財産合計	291,773,107	9,229,991	363,921,543	△0	664,924,641
負債及び正味財産合計	553,451,260	9,375,058	437,829,116	△159,180,192	841,475,242

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[370, 458]	[366, 884]	[3, 574]
特定資産受取利息	370, 458	366, 884	3, 574
受取入金	[34, 476, 000]	[31, 406, 500]	[3, 069, 500]
受取入金	34, 476, 000	31, 406, 500	3, 069, 500
受取会費	[149, 802, 000]	[144, 810, 000]	[4, 992, 000]
正会員受取会費	149, 802, 000	144, 810, 000	4, 992, 000
事業収益	[192, 321, 687]	[243, 716, 987]	[△ 51, 395, 300]
教育研修会参加料	50, 396, 700	50, 528, 300	△ 131, 600
看護職員の資質向上研修事業受託料	11, 912, 212	36, 717, 500	△ 24, 805, 288
看護職員就労環境改善事業受託料	4, 910, 000	3, 417, 000	1, 493, 000
ナースセンター事業受託料	22, 812, 000	22, 812, 000	0
ナースセンター会館管理受託料	5, 840, 000	6, 740, 000	△ 900, 000
訪問看護推進事業受託料	15, 898, 000	34, 333, 000	△ 18, 435, 000
小児救急電話相談事業受託料	1, 086, 000	1, 092, 473	△ 6, 473
日本看護協会受託料	4, 781, 324	3, 375, 113	1, 406, 211
訪問看護療養費収益	54, 551, 675	47, 608, 060	6, 943, 615
基本利用料収益	4, 088, 569	4, 233, 066	△ 144, 497
その他の利用料収益	1, 356, 792	1, 382, 175	△ 25, 383
治験収益	1, 133, 000	1, 474, 000	△ 341, 000
居宅介護支援事業収益	8, 812, 243	9, 115, 050	△ 302, 807
介護職員等対象喀痰吸引研修事業受託料	0	20, 000, 000	△ 20, 000, 000
受取手数料	3, 059, 805	0	3, 059, 805
雑収益	1, 683, 367	889, 250	794, 117
受取補助金等	[12, 174, 200]	[92, 574, 270]	[△ 80, 400, 070]
自殺予防対策事業	2, 740, 000	2, 880, 000	△ 140, 000
日本看護協会助成金	9, 284, 200	9, 221, 270	62, 930
小規模訪問看護サービス支援事業補助金	0	80, 473, 000	△ 80, 473, 000
精神身体活動助成金	150, 000	0	150, 000
受取寄付金	[1, 000, 000]	[0]	[1, 000, 000]
受取寄付金	1, 000, 000	0	1, 000, 000
雑収益	[1, 050, 928]	[3, 989, 453]	[△ 2, 938, 525]
受取利息	79, 502	89, 573	△ 10, 071
受取手数料	0	2, 302, 460	△ 2, 302, 460
雑収益	971, 426	1, 597, 420	△ 625, 994
経常収益計	391, 195, 273	516, 864, 094	△ 125, 668, 821
(2) 経常費用			
事業費	[347, 324, 696]	[378, 328, 352]	[△ 31, 003, 656]
役員報酬	21, 362, 046	20, 814, 314	547, 732
給与手当	121, 326, 982	117, 906, 787	3, 420, 195
賞与	26, 213, 973	22, 841, 698	3, 372, 275
通勤手当	6, 166, 983	6, 068, 255	98, 728
役員退職慰労引当金繰入	2, 226, 384	1, 793, 747	432, 637
退職給付費用	7, 206, 350	5, 699, 891	1, 506, 459
福利厚生費	26, 185, 165	23, 886, 435	2, 298, 730
旅費交通費	5, 292, 297	5, 250, 961	41, 336
通信運搬費	7, 289, 838	8, 554, 044	△ 1, 264, 206
減価償却費	17, 682, 935	13, 430, 974	4, 251, 961
消耗什器備品費	1, 913, 433	6, 936, 287	△ 5, 022, 854
消耗品費	7, 220, 565	8, 493, 802	△ 1, 273, 237
修繕費	2, 493, 259	3, 016, 165	△ 522, 906
印刷製本費	14, 854, 887	17, 194, 194	△ 2, 339, 307
燃料費	685, 704	587, 041	98, 663
光熱水料費	5, 600, 525	5, 616, 698	△ 16, 173
賃借料	6, 813, 485	9, 182, 691	△ 2, 369, 206

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
保険料	1,580,625	1,380,255	200,370
諸謝金	30,254,541	48,398,366	△ 18,143,825
租税公課	3,197,794	5,320,922	△ 2,123,128
支払負担金	76,600	35,000	41,600
看護材料購入費	262,575	280,388	△ 17,813
管理諸費	15,171,601	10,977,774	4,193,827
函書費	1,044,304	1,523,628	△ 479,324
雑費	15,201,845	33,138,035	△ 17,936,190
管理費	[70,569,686]	[73,943,377]	[△ 3,373,691]
役員報酬	2,738,523	2,636,061	102,462
給料手当	21,183,789	22,713,007	△ 1,529,218
賞与	4,129,535	3,888,496	241,039
通勤手当	1,506,321	1,453,384	52,937
役員退職慰労引当金繰入	637,145	513,336	123,809
退職給付費用	1,094,720	1,037,439	57,281
福利厚生費	5,680,800	5,236,200	444,600
旅費交通費	1,315,637	1,242,495	73,142
通信運搬費	2,822,049	2,473,951	348,098
減価償却費	4,990,499	4,623,690	366,809
消耗什器備品費	73,699	186,872	△ 113,173
消耗品費	598,589	671,359	△ 72,770
修繕費	946,365	1,623,101	△ 676,736
印刷製本費	2,977,170	3,397,968	△ 420,798
光熱水料費	2,571,879	2,594,263	△ 22,384
賃借料	2,533,071	2,545,941	△ 12,870
保険料	490,482	347,822	142,660
諸謝金	625,370	287,480	337,890
租税公課	2,520,766	4,654,778	△ 2,134,012
支払負担金	272,500	234,500	38,000
管理諸費	4,581,242	4,766,427	△ 185,185
交際費	354,271	466,041	△ 111,770
函書費	0	29,550	△ 29,550
雑費	5,925,264	6,319,216	△ 393,952
経常費用計	417,894,382	452,271,729	△ 34,377,347
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 26,699,109	64,592,365	△ 91,291,474
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 26,699,109	64,592,365	△ 91,291,474
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[57,911,464]	[3,394,270]	[54,517,194]
什器備品除却損	6,282	128,192	△ 121,910
その他固定資産除却損	57,905,182	3,266,078	54,639,104
経常外費用計	57,911,464	3,394,270	54,517,194
当期経常外増減額	△ 57,911,464	△ 3,394,270	△ 54,517,194
当期一般正味財産増減額	△ 84,610,573	61,198,095	△ 145,808,668
一般正味財産期首残高	749,535,214	688,337,119	61,198,095
一般正味財産期末残高	664,924,641	749,535,214	△ 84,610,573
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	664,924,641	749,535,214	△ 84,610,573

正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

会計区分 科 目	公益目的 事業会計	収 益 事 業 等 会 計				法人会計	内部取引 消 去	合 計
		施設の貸 与等事業	販売手数料及 び出展広告料 に関する事業	福利厚生等 に関する事業	計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
特定資産運用益	[189,690]	[34]	[34]	[698]	[766]	[180,002]	[△ 0]	[370,458]
特定資産受取利息	189,690	34	34	698	766	180,002		370,458
受取入会金	[17,238,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[17,238,000]	[△ 0]	[34,476,000]
受取入会金	17,238,000	0	0	0	0	17,238,000		34,476,000
受取会費	[74,901,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[74,901,000]	[△ 0]	[149,802,000]
正会員受取会費	74,901,000	0	0	0	0	74,901,000		149,802,000
事業収益	[186,165,393]	[480,000]	[2,120,205]	[150,961]	[2,751,166]	[3,405,128]	[△ 0]	[192,321,687]
教育研修会参加料	50,396,700	0	0	0	0	0		50,396,700
看護職員の資質向上研修事業受託料	11,912,212	0	0	0	0	0		11,912,212
看護職員就業環境改善事業受託料	4,910,000	0	0	0	0	0		4,910,000
ナースセンター事業受託料	22,812,000	0	0	0	0	0		22,812,000
ナースセンター会館管理受託料	5,840,000	0	0	0	0	0		5,840,000
訪問看護推進事業受託料	15,898,000	0	0	0	0	0		15,898,000
小児救急電話相談事業受託料	1,086,000	0	0	0	0	0		1,086,000
日本看護協会受託料	1,379,196	0	0	0	0	3,402,128		4,781,324
訪問看護療養費収益	54,551,675	0	0	0	0	0		54,551,675
基本利用料収益	4,088,569	0	0	0	0	0		4,088,569
その他の利用料収益	1,356,792	0	0	0	0	0		1,356,792
治験収益	1,133,000	0	0	0	0	0		1,133,000
居宅介護支援事業収益	8,812,243	0	0	0	0	0		8,812,243
受取手数料	939,600	0	2,120,205	0	2,120,205	0		3,059,805
雑収益	1,049,406	480,000	0	150,961	630,961	3,000		1,683,367
受取補助金等	[12,174,200]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[12,174,200]
自殺予防対策事業	2,740,000	0	0	0	0	0		2,740,000
日本看護協会助成金	9,284,200	0	0	0	0	0		9,284,200
精神身体活動助成金	150,000	0	0	0	0	0		150,000
受取寄付金	[1,000,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[1,000,000]
受取寄付金	1,000,000	0	0	0	0	0		1,000,000
雑収益	[968,858]	[621]	[0]	[0]	[621]	[81,449]	[△ 0]	[1,050,928]
受取利息	27,432	621	0	0	621	51,449		79,502
雑収益	941,426	0	0	0	0	30,000		971,426
経常収益計	292,637,141	480,655	2,120,239	151,659	2,752,553	95,805,579	△ 0	391,195,273
(2) 経常費用								
事業費	[342,277,263]	[603,099]	[435,235]	[4,009,099]	[5,047,433]	[0]	[△ 0]	[347,324,696]
役員報酬	21,235,089	36,359	36,359	54,239	126,957			21,362,046
給与手当	120,877,951	52,827	52,827	343,377	449,031			121,326,982
賞与	26,126,440	10,298	10,298	66,937	87,533			26,213,973
通勤手当	6,131,105	5,415	5,415	25,048	35,878			6,166,983
役員退職慰労引当金繰入	2,211,209	2,290	2,290	10,595	15,175			2,226,384
退職給付費用	7,180,274	3,936	3,936	18,204	26,076			7,206,350
福利厚生費	26,071,312	17,185	17,185	79,483	113,853			26,185,165
会議費	0	0	0	0	0			0
旅費交通費	5,292,297	0	0	0	0			5,292,297
通信運搬費	7,218,546	648	0	70,644	71,292			7,289,838
減価償却費	17,370,796	275,244	4,528	32,367	312,139			17,682,935
消耗什器備品費	1,911,669	278	278	1,208	1,764			1,913,433
消耗品費	7,206,221	2,264	2,264	9,816	14,344			7,220,565
修繕費	2,489,038	191	191	3,839	4,221			2,493,259
印刷製本費	14,854,887	0	0	0	0			14,854,887
燃料費	685,704	0	0	0	0			685,704
光熱水料費	5,589,051	521	521	10,432	11,474			5,600,525
賃借料	6,685,117	126,107	107	2,154	128,368			6,813,485
保険料	1,578,438	99	99	1,989	2,187			1,580,625
諸謝金	30,254,541	0	0	0	0			30,254,541
租税公課	2,821,093	68,509	298,009	10,183	376,701			3,197,794
支払負担金	76,600	0	0	0	0			76,600
支払手数料	0	0	0	0	0			0
看護材料購入費	262,575	0	0	0	0			262,575
管理諸費	11,911,161	928	928	3,258,584	3,260,440			15,171,601

正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	会計区分 公益目的 事業会計	収 益 事 業 等 会 計				法人会計	内部取引 消 去	合 計
		施設の貸 与等事業	販売手数料及 び出展広告料 に関する事業	福利厚生等 に関する事業	計			
交際費	0	0	0	0	0			0
図書費	1,044,304	0	0	0	0			1,044,304
雑費	15,191,845	0	0	10,000	10,000			15,201,845
管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[70,569,686]	[△ 0]	[70,569,686]
役員報酬					0	2,738,523		2,738,523
給料手当					0	21,183,789		21,183,789
賞与					0	4,129,535		4,129,535
通勤手当					0	1,506,321		1,506,321
役員退職慰労引当金繰入					0	637,145		637,145
退職給付費用					0	1,094,720		1,094,720
福利厚生費					0	5,680,800		5,680,800
会議費					0	0		0
旅費交通費					0	1,315,637		1,315,637
通信運搬費					0	2,822,049		2,822,049
減価償却費					0	4,990,499		4,990,499
消耗什器備品費					0	73,699		73,699
消耗品費					0	598,589		598,589
修繕費					0	946,365		946,365
印刷製本費					0	2,977,170		2,977,170
燃料費					0	0		0
光熱水料費					0	2,571,879		2,571,879
賃借料					0	2,533,071		2,533,071
保険料					0	490,482		490,482
諸謝金					0	625,370		625,370
租税公課					0	2,520,766		2,520,766
支払負担金					0	272,500		272,500
支払手数料					0	0		0
看護材料購入費					0	0		0
管理諸費					0	4,581,242		4,581,242
交際費					0	354,271		354,271
図書費					0	0		0
雑費					0	5,925,264		5,925,264
経常費用計	342,277,263	603,099	435,235	4,009,099	5,047,433	70,569,686	△ 0	417,894,382
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 49,640,122	△ 122,444	1,685,004	△ 3,857,440	△ 2,294,880	25,235,893	△ 0	△ 26,699,109
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常増減額	△ 49,640,122	△ 122,444	1,685,004	△ 3,857,440	△ 2,294,880	25,235,893	△ 0	△ 26,699,109
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	[57,910,447]	[3]	[3]	[16]	[22]	[995]	[△ 0]	[57,911,464]
建物除却損	0	0	0	0	0	0		0
構築物除却損	0	0	0	0	0	0		0
車両運搬具除却損	0	0	0	0	0	0		0
什器備品除却損	5,265	3	3	16	22	995		6,282
図書除却損	0	0	0	0	0	0		0
その他固定資産除却損	57,905,182	0	0	0	0	0		57,905,182
経常外費用計	57,910,447	3	3	16	22	995	△ 0	57,911,464
当期経常外増減額	△ 57,910,447	△ 3	△ 3	△ 16	△ 22	△ 995	△ 0	△ 57,911,464
他会計振替額	800,000	0	△ 800,000	3,857,456	3,057,456	△ 3,857,456		0
当期一般正味財産増減額	△ 106,750,569	△ 122,447	885,001	0	762,554	21,377,442	△ 0	△ 84,610,573
一般正味財産期首残高	398,523,676	7,271,224	1,196,213	0	8,467,437	342,544,101		749,535,214
一般正味財産期末残高	291,773,107	7,148,777	2,081,214	0	9,229,991	363,921,543	△ 0	664,924,641
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
III 正味財産期末残高	291,773,107	7,148,777	2,081,214	0	9,229,991	363,921,543	△ 0	664,924,641

正味財産増減計算書内訳表（公益目的事業会計）

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計									合 計
	看護職の資 質向上事業	看護職確保 ・定着事業	訪問看護 推進事業	健康・福祉 増進事業	調査研究 提言事業	訪問看護・ 居宅事業	その他本会の 目的を達成す る為に必要な 事業	公益目的 共通事業	内部 取引 消去	
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1)経常収益										
特定資産運用益	[127,185]	[4,712]	[6,318]	[4,084]	[2,198]	[33,157]	[3,036]	[9,000]	[△ 0]	[189,690]
特定資産受取利息	127,185	4,712	6,318	4,084	2,198	33,157	3,036	9,000		189,690
受取入金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[17,238,000]	[△ 0]	[17,238,000]
受取入金	0	0	0	0	0	0	0	17,238,000		17,238,000
受取会費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[74,901,000]	[△ 0]	[74,901,000]
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	74,901,000		74,901,000
事業収益	[64,087,554]	[33,562,000]	[16,624,000]	[1,268,660]	[0]	[71,245,409]	[205,710]	[5,560]	[△ 833,500]	[186,165,393]
教育研修会参加料	49,807,200	0	726,000	0	0	0	0	0	△ 136,500	50,396,700
看護職員の資質向上研修事業受託料	11,912,212	0	0	0	0	0	0	0	0	11,912,212
看護職員就業環境改善事業受託料	0	4,910,000	0	0	0	0	0	0	0	4,910,000
ナースセンター事業受託料	0	22,812,000	0	0	0	0	0	0	0	22,812,000
ナースセンター会館管理受託料	0	5,840,000	0	0	0	0	0	0	0	5,840,000
訪問看護推進事業受託料	0	0	15,898,000	0	0	0	0	0	0	15,898,000
小児救急電話相談事業受託料	0	0	0	1,086,000	0	0	0	0	0	1,086,000
日本看護協会受託料	1,379,196	0	0	0	0	0	0	0	0	1,379,196
訪問看護療養費収益	0	0	0	0	0	54,551,675	0	0	0	54,551,675
基本利用料収益	0	0	0	0	0	4,088,569	0	0	0	4,088,569
その他の利用料収益	0	0	0	0	0	1,356,792	0	0	0	1,356,792
治験収益	0	0	0	0	0	1,133,000	0	0	0	1,133,000
居宅介護支援事業収益	0	0	0	0	0	8,812,243	0	0	0	8,812,243
受取手数料	939,600	0	0	0	0	0	0	0	0	939,600
雑収益	49,346	0	0	182,660	0	1,303,130	205,710	5,560	△ 697,000	1,049,406
受取補助金等	[9,334,200]	[0]	[0]	[2,840,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[12,174,200]
自殺予防対策事業	0	0	0	2,740,000	0	0	0	0	0	2,740,000
日本看護協会助成金	9,184,200	0	0	100,000	0	0	0	0	0	9,284,200
精神身体活動助成金	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000
受取寄付金	[1,000,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[1,000,000]
受取寄付金	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000,000
雑収益	[1,190]	[20,000]	[0]	[10,000]	[0]	[302,434]	[0]	[635,234]	[△ 0]	[968,858]
受取利息	1,190	0	0	0	0	3,309	0	22,933		27,432
雑収益	0	20,000	0	10,000	0	299,125	0	612,301		941,426
経常収益計	74,550,129	33,586,712	16,630,318	4,122,744	2,198	71,581,000	208,746	92,788,794	△ 833,500	292,637,141
(2)経常費用										
事業費	[94,424,176]	[44,409,891]	[20,007,766]	[16,726,844]	[4,103,274]	[96,702,965]	[24,400,220]	[42,335,627]	[△ 833,500]	[342,277,263]
役員報酬	5,059,756	3,647,616	4,331,626	2,700,510	698,247	3,161,383	1,635,951	0		21,235,089
給与手当	22,742,185	12,462,745	2,294,072	2,417,900	1,003,719	54,503,255	4,006,075	21,448,000		120,877,951
賞与	4,433,321	2,454,836	535,254	483,475	195,663	13,222,954	780,937	4,020,000		26,126,440
通勤手当	1,726,332	960,546	226,530	234,355	101,548	916,528	345,266	1,620,000		6,131,105
役員退職慰労引当金繰入	730,199	417,349	94,329	85,161	42,952	17,180	146,039	678,000		2,211,209
退職給付費用	1,254,614	712,173	161,638	155,597	73,800	3,410,530	250,922	1,161,000		7,180,274
福利厚生費	5,477,917	3,101,053	825,508	693,235	322,229	9,669,987	1,095,583	4,944,000	△ 58,200	26,071,312
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0		0

正味財産増減計算書内訳表（公益目的事業会計）

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計									合 計
	看護職の資 質向上事業	看護職確保 ・定着事業	訪問看護 推進事業	健康・福祉 増進事業	調査研究 提言事業	訪問看護・ 居宅事業	その他会社の 目的を達成す る為に必要な 事業	公益目的 共通事業	内部 取引 消去	
旅費交通費	148,231	242,736	229,151	274,132	712,472	305,997	3,379,578	0		5,292,297
通信運搬費	1,561,808	1,550,201	735,519	592,100	168,181	1,129,293	1,471,724	9,720		7,218,546
減価償却費	5,782,877	573,673	2,846,390	3,048,775	117,509	1,958,325	296,240	2,747,007		17,370,796
消耗什器備品費	626,515	317,997	61,655	30,642	4,974	699,321	16,925	153,640		1,911,669
消耗品費	2,567,323	988,777	693,410	681,319	46,874	525,409	455,527	1,247,582		7,206,221
修繕費	699,303	1,021,459	34,743	22,458	12,092	674,798	16,699	7,486		2,489,038
印刷製本費	4,899,788	2,961,349	1,401,356	1,325,256	136,296	300,155	3,830,687	0		14,854,887
燃料費	0	0	0	0	0	685,704	0	0		685,704
光熱水料費	2,230,464	2,649,301	94,420	61,034	32,863	455,241	45,383	20,345		5,589,051
賃借料	1,974,346	2,114,666	38,396	687,493	6,785	1,288,548	570,682	4,201		6,685,117
保険料	362,433	11,090	18,007	11,639	6,267	1,156,468	8,654	3,880		1,578,438
諸謝金	19,774,314	2,815,886	3,227,140	1,137,172	278,700	0	1,290,389	2,427,940	△ 697,000	30,254,541
租税公課	1,868,141	70,881	104,161	62,373	32,077	619,305	44,297	19,858		2,821,093
支払負担金	0	0	0	41,600	0	35,000	0	0		76,600
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0		0
看護材料購入費	0	0	0	0	0	262,575	0	0		262,575
管理諸費	4,357,635	3,841,880	924,194	108,722	58,541	1,612,168	971,781	36,240		11,911,161
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0		0
図書費	934,712	37,208	42,060	30,324	0	0	0	0		1,044,304
雑費	5,211,962	1,456,469	1,088,207	1,841,572	51,485	92,841	3,740,881	1,786,728	△ 78,300	15,191,845
経常費用計	94,424,176	44,409,891	20,007,766	16,726,844	4,103,274	96,702,965	24,400,220	42,335,627	△ 833,500	342,277,263
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 19,874,047	△ 10,823,179	△ 3,377,448	△ 12,604,100	△ 4,101,076	△ 25,121,965	△ 24,191,474	50,453,167	△ 0	△ 49,640,122
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常増減額	△ 19,874,047	△ 10,823,179	△ 3,377,448	△ 12,604,100	△ 4,101,076	△ 25,121,965	△ 24,191,474	50,453,167	△ 0	△ 49,640,122
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
固定資産除却損	[1,141]	[745]	[57,906,014]	[413]	[66]	[1,840]	[228]	[0]	[△ 0]	[57,910,447]
什器備品除却損	1,141	745	832	413	66	1,840	228	0		5,265
その他固定資産除却損	0	0	57,905,182	0	0	0	0	0		57,905,182
経常外費用計	1,141	745	57,906,014	413	66	1,840	228	0	△ 0	57,910,447
当期経常外増減額	△ 1,141	△ 745	△ 57,906,014	△ 413	△ 66	△ 1,840	△ 228	0	△ 0	△ 57,910,447
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	800,000		800,000
当期一般正味財産増減額	△ 19,875,188	△ 10,823,924	△ 61,283,462	△ 12,604,513	△ 4,101,142	△ 25,123,805	△ 24,191,702	51,253,167	△ 0	△ 106,750,569
一般正味財産期首残高	△ 19,867,430	△ 22,507,413	61,164,469	△ 7,456,792	△ 9,482,209	10,253,490	△ 44,804,894	431,224,455		398,523,676
一般正味財産期末残高	△ 39,742,618	△ 33,331,337	△ 118,993	△ 20,061,305	△ 13,583,351	△ 14,870,315	△ 68,996,596	482,477,622	△ 0	291,773,107
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
III 正味財産期末残高	△ 39,742,618	△ 33,331,337	△ 118,993	△ 20,061,305	△ 13,583,351	△ 14,870,315	△ 68,996,596	482,477,622	△ 0	291,773,107

正味財産増減計算書(予算対比)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考欄
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	[353,000]	[370,458]	[△ 17,458]	
特定資産受取利息	353,000	370,458	△ 17,458	
受取入会金	[34,320,000]	[34,476,000]	[△ 156,000]	
受取入会金	34,320,000	34,476,000	△ 156,000	
受取会費	[149,634,000]	[149,802,000]	[△ 168,000]	
正会員受取会費	149,634,000	149,802,000	△ 168,000	
事業収益	[190,813,000]	[192,321,687]	[△ 1,508,687]	
教育研修会参加料	49,611,000	50,396,700	△ 785,700	
看護職員の資質向上研修事業受託料	13,088,000	11,912,212	1,175,788	
看護職員就業環境改善事業受託料	4,910,000	4,910,000	0	
ナースセンター事業受託料	22,812,000	22,812,000	0	
ナースセンター会館管理受託料	5,840,000	5,840,000	0	
訪問看護推進事業受託料	14,260,000	15,898,000	△ 1,638,000	
小児救急電話相談事業受託料	1,034,000	1,086,000	△ 52,000	
日本看護協会受託料	4,080,000	4,781,324	△ 701,324	
訪問看護療養費収益	53,332,000	54,551,675	△ 1,219,675	
基本利用料収益	4,116,000	4,088,569	27,431	
その他の利用料収益	1,362,000	1,356,792	5,208	
治験収益	1,000,000	1,133,000	△ 133,000	
居宅介護支援事業収益	9,200,000	8,812,243	387,757	
受取手数料	3,143,000	3,059,805	83,195	
雑収益	3,025,000	1,683,367	1,341,633	
受取補助金等	[12,174,000]	[12,174,200]	[△ 200]	
自殺予防対策事業	2,740,000	2,740,000	0	
日本看護協会助成金	9,284,000	9,284,200	△ 200	
精神身体活動助成金	150,000	150,000	0	
受取寄付金	[1,000,000]	[1,000,000]	[0]	
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	0	
雑収益	[858,000]	[1,050,928]	[△ 192,928]	
受取利息	116,000	79,502	36,498	
雑収益	742,000	971,426	△ 229,426	
経常収益計	389,152,000	391,195,273	△ 2,043,273	
(2) 経常費用				
事業費	[359,811,000]	[347,324,696]	[12,486,304]	
役員報酬	21,019,000	21,362,046	△ 343,046	
給与手当	125,615,000	121,326,982	4,288,018	
賞与	26,229,000	26,213,973	15,027	
通勤手当	6,192,000	6,166,983	25,017	
役員退職慰労引当金繰入	2,226,000	2,226,384	△ 384	
退職給付費用	7,208,000	7,206,350	1,650	
福利厚生費	26,968,000	26,185,165	782,835	
旅費交通費	4,792,000	5,292,297	△ 500,297	
通信運搬費	6,410,000	7,289,838	△ 879,838	
減価償却費	26,068,000	17,682,935	8,385,065	
消耗什器備品費	1,624,000	1,913,433	△ 289,433	
消耗品費	7,664,000	7,220,565	443,435	
修繕費	2,642,000	2,493,259	148,741	
印刷製本費	15,357,000	14,854,887	502,113	
燃料費	720,000	685,704	34,296	
光熱水料費	5,529,000	5,600,525	△ 71,525	
賃借料	6,853,000	6,813,485	39,515	
保険料	1,523,000	1,580,625	△ 57,625	

正味財産増減計算書(予算対比)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考欄
諸謝金	28,649,000	30,254,541	△ 1,605,541	
租税公課	3,107,000	3,197,794	△ 90,794	
支払負担金	135,000	76,600	58,400	
看護材料購入費	252,000	262,575	△ 10,575	
管理諸費	15,139,000	15,171,601	△ 32,601	
函書費	938,000	1,044,304	△ 106,304	
雑費	16,952,000	15,201,845	1,750,155	
管理費	[72,089,000]	[70,569,686]	[1,519,314]	
役員報酬	2,675,000	2,738,523	△ 63,523	
給料手当	22,221,000	21,183,789	1,037,211	
賞与	4,134,000	4,129,535	4,465	
通勤手当	1,512,000	1,506,321	5,679	
役員退職慰労引当金繰入	637,000	637,145	△ 145	
退職給付費用	1,095,000	1,094,720	280	
福利厚生費	5,263,000	5,680,800	△ 417,800	
旅費交通費	1,381,000	1,315,637	65,363	
通信運搬費	3,095,000	2,822,049	272,951	
減価償却費	4,379,000	4,990,499	△ 611,499	
消耗什器備品費	54,000	73,699	△ 19,699	
消耗品費	657,000	598,589	58,411	
修繕費	1,714,000	946,365	767,635	
印刷製本費	3,190,000	2,977,170	212,830	
光熱水料費	2,554,000	2,571,879	△ 17,879	
賃借料	2,367,000	2,533,071	△ 166,071	
保険料	486,000	490,482	△ 4,482	
諸謝金	580,000	625,370	△ 45,370	
租税公課	2,473,000	2,520,766	△ 47,766	
支払負担金	321,000	272,500	48,500	
管理諸費	4,564,000	4,581,242	△ 17,242	
交際費	504,000	354,271	149,729	
雑費	6,233,000	5,925,264	307,736	
経常費用計	431,900,000	417,894,382	14,005,618	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 42,748,000	△ 26,699,109	△ 16,048,891	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 42,748,000	△ 26,699,109	△ 16,048,891	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	[9,000]	[57,911,464]	[△ 57,902,464]	
什器備品除却損	9,000	6,282	2,718	
その他固定資産除却損	0	57,905,182	△ 57,905,182	
経常外費用計	9,000	57,911,464	△ 57,902,464	
当期経常外増減額	△ 9,000	△ 57,911,464	57,902,464	
当期一般正味財産増減額	△ 42,757,000	△ 84,610,573	41,853,573	
一般正味財産期首残高	749,535,000	749,535,214	△ 214	
一般正味財産期末残高	706,778,000	664,924,641	41,853,359	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	706,778,000	664,924,641	41,853,359	

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）によっている。

2) 固定資産の減価償却費の方法

(1)有形固定資産（リース資産を除く）

①建物

平成10年3月31日以前取得のものについては定率法により、

平成10年4月1日以降取得のものについては定額法によっている。（附属設備を除く）

②構築物、車両運搬具、什器備品、その他固定資産

定率法によっている。

(2)無形固定資産（リース資産を除く）

①その他固定資産

定額法によっている。

(3)リース資産

①所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

3) 引当金の計上基準

(1)役員退職慰労引当金

役員退職給付に備えるため、当期末における退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

(2)退職給付引当金

職員退職給付に備えるため、当期末における退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 表示方法の変更

（貸借対照表関係）

- 1) 従来、特定資産に計上されていた「退職給付引当資産」について、より実態を適切に表示するために、当年度より役員分と職員分を、「役員退職慰労引当資産」及び「退職給付引当資産」に区分して表示している。

4. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
役員退職慰労引当資産	0	4,000,000	0	4,000,000
退職給付引当資産	38,359,235	6,900,000	5,525,000	39,734,235
看護会館取得資産	237,753,208	24,893,036	0	262,646,244
車両運搬具取得資産	6,500,000	500,000	2,000,000	5,000,000
記念事業積立資産	400,000	400,000	0	800,000
合 計	283,012,443	36,693,036	7,525,000	312,180,479

財務諸表に対する注記

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
役員退職慰労引当資産	4,000,000	0	0	4,000,000
退職給付引当資産	39,734,235	0	0	39,734,235
看護会館取得資産	262,646,244	0	262,646,244	0
車両運搬具取得資産	5,000,000	0	5,000,000	0
記念事業積立資産	800,000	0	800,000	0
合 計	312,180,479	0	268,446,244	43,734,235

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	363,185,658	△ 226,305,682	136,879,976
構築物	35,220,427	△ 30,370,842	4,849,585
車両運搬具	13,344,926	△ 11,449,741	1,895,185
什器備品	70,000,194	△ 61,388,503	8,611,691
図書	30,501,215	△ 0	30,501,215
リース資産	11,561,700	△ 7,293,809	4,267,891
その他固定資産	23,495,370	△ 6,996,000	16,499,370
合 計	547,309,490	△ 343,804,577	203,504,913

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額及び額面価額

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額及び額面価額は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	額面価額	差額
債券（看護会館取得資産）			
千葉県債24年度004回	49,993,000	50,000,000	7,000
債券（看護会館取得資産）			
千葉県債24年度004回	49,993,000	50,000,000	7,000
債券（看護会館取得資産）			
千葉県債24年度004回	49,993,000	50,000,000	7,000
合 計	149,979,000	150,000,000	21,000

財務諸表に対する注記

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地域自殺対策緊急強化基金事業費補助金	千葉県	0	2,740,000	2,740,000	0	
助成金						
教育事業(研修)助成金	日看護協会 本会	0	9,184,200	9,184,200	0	
看護の普及啓発事業助成金	日看護協会 本会	0	100,000	100,000	0	
精神・身体疾患併発患者診療機能支援事業 フォローアップ研修活動助成金	千葉県精神科病院協会	0	150,000	150,000	0	
委託費						
千葉県喀痰吸引等指導者養成講習業務	千葉県	0	868,212	868,212	0	
新人看護職員定着促進事業	千葉県	0	5,060,000	5,060,000	0	
地域・在宅看護実習指導者講習会事業	千葉県	0	507,000	507,000	0	
実習指導者講習会事業	千葉県	0	4,873,000	4,873,000	0	
中堅看護職員実務研修事業	千葉県	0	604,000	604,000	0	
看護職員の就労環境改善事業	千葉県	0	4,910,000	4,910,000	0	
千葉県ナースセンター事業管理運営	千葉県	0	28,652,000	28,652,000	0	
訪問看護師人材育成事業	千葉県	0	10,000,000	10,000,000	0	
千葉県訪問看護推進事業	千葉県	0	5,898,000	5,898,000	0	
千葉県小児救急電話相談事業	千葉県医師会	0	1,086,000	1,086,000	0	
会員登録事務業務	日看護協会 本会	0	1,863,900	1,863,900	0	
代議員選出に関する業務	日看護協会 本会	0	1,538,228	1,538,228	0	
研修事務委託料	日看護協会 本会	0	659,100	659,100	0	
助産師出向支援モデル事業	日看護協会 本会	0	720,096	720,096	0	
医療救護所設置・運用訓練参加	船橋市	0	205,710	205,710	0	
合 計		0	79,619,446	79,619,446	0	

9. 関連当事者との取引の内容
 該当なし

10. 重要な後発事象
 該当なし

11. その他

1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

その他固定資産

主として研修機材及び事務機器等の什器備品である。

(2) リース資産の減価償却の方法

重要な会計方針「2) 固定資産の減価償却費の方法」に記載のとおりである。

附属明細書

1. 特定資産の明細
財務諸表に対する注記「4. 特定資産の増減額及びその残高」に記載
2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	6,786,111	2,863,529	5,525,000	0	4,124,640
退職給付引当金	31,599,280	8,301,070	0	0	39,900,350

財産目録

平成27年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
現金 普通預金	手許現金	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	820,287	
			運転資金として	125,616,848	
			運転資金として	65,764,618	
			運転資金として	526,683	
			運転資金として	22,561,023	
			運転資金として	16,862	
			運転資金として	16,649	
			運転資金として	996,852	
			定期預金	千葉銀行 本店営業部	35,000,000
			定期預金	千葉銀行 本店営業部	30,000,000
定期預金	千葉興業銀行 本店	30,000,000			
定期預金	京葉銀行 本店	30,000,000			
未収入金		訪問看護・居宅事業（公益目的事業）にかかるもの	11,961,436		
		研修参加料その他未収入金	215,041		
		職員の健康診断料自己負担分	22,470		
前払費用		翌年度以降相当分保険料他	847,381		
流動資産合計				324,366,150	
(固定資産)					
特定資産					
役員退職慰労引当資産	普通預金	千葉銀行 本店営業部	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	4,000,000	
			退職給付引当資産	普通預金	4,466,435
			普通預金	4,466,435	
			定期預金	18,700,000	
			定期預金	16,567,800	
			看護会館取得資産	普通預金	72,667,244
			普通預金	72,667,244	
			定期預金	40,000,000	
			定期預金	40,000,000	
			定期預金	149,979,000	
車両運搬具取得資産	千葉銀行 本店営業部	定期預金	5,000,000		
記念事業積立資産	千葉銀行 本店営業部	定期預金	800,000		
定期預金	40周年記念事業資金として	800,000			
その他固定資産					
建物	会館（別館含む）および 本納建物		公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	179,424,421	
			減価償却累計額	△111,465,972	
				67,958,449	
			収益事業等の用に供している	8,530,951	
			減価償却累計額	△ 5,979,274	
				2,551,677	
			管理運営の用に供している	175,230,286	
			減価償却累計額	△108,860,436	
				66,369,850	
				17,444,870	
構築物	看板工事等		公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	17,444,870	
			減価償却累計額	△ 14,988,367	
				2,456,503	
			収益事業等の用に供している	2,570,123	
			減価償却累計額	△ 2,415,276	
				154,847	
			管理運営の用に供している	15,205,434	
			減価償却累計額	△ 12,967,199	
				2,238,235	
				13,055,604	
車両運搬具	訪問看護用車両13台 及び多目的車両1台		公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	13,055,604	
			減価償却累計額	△ 11,160,424	
				1,895,180	

財産目録

平成27年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	什器備品	看護会館内の 什器備品一式	収益事業等の用に供している	6,774
			減価償却累計額	△ 6,771
			管理運営の用に供している	3
			減価償却累計額	282,548
				△ 282,546
				2
	図書 リース資産	書物一式 研修用機材 及び事務機器等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	59,670,323
			減価償却累計額	△ 52,051,055
			収益事業等の用に供している	7,619,268
			減価償却累計額	241,972
				△ 218,620
				23,352
	その他固定資産	ソフトウェア・システム等	管理運営の用に供している	10,087,899
			減価償却累計額	△ 9,118,828
			公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	969,071
			減価償却累計額	30,501,215
公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している			10,745,357	
減価償却累計額			△ 6,934,567	
収益事業等の用に供している			3,810,790	
減価償却累計額			19,111	
			△ 8,406	
			10,705	
電話加入権 保証金 リース預託金	本館および別館 電話加入権 警備保障契約保証金 駐車場賃借保証金 訪問看護用車両13台 多目的車両1台	管理運営の用に供している	797,232	
		減価償却累計額	△ 350,836	
		公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	446,396	
		減価償却累計額	22,046,760	
			△ 6,311,575	
		収益事業等の用に供している	15,735,185	
		減価償却累計額	33,913	
			△ 16,021	
保証金	相談事業用電話 245-0008 他	管理運営の用に供している	17,892	
		減価償却累計額	1,414,697	
			△ 668,404	
			746,293	
リース預託金	多目的車両1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	1,186,490	
		管理運営の用に供している	100,000	
固定資産合計				517,109,092
資産合計				841,475,242
(流動負債)	リース債務	コンピュータ等のリース料	公益目的事業のために支出するもの 及び共通資産	2,771,778
	前受金	平成27年度入会金	公益目的事業および管理運営の支出に 供する入会金の前受分	5,652,000
	前受会費	平成27年度年会費	公益目的事業および管理運営の支出に 供する会費の前受分	122,664,000
	預り金	平成27年3月分源泉所得税 他		1,437,833
流動負債合計				132,525,611
(固定負債)	役員退職慰労引当金	期末退職給付要支給額	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	4,124,640
	退職給付引当金	期末退職給付要支給額	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	39,900,350
固定負債合計				44,024,990
負債合計				176,550,601
正味財産				664,924,641

資金収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	会計区分	公益目的 事業会計	収 益 事 業 等 会 計				法人会計	内部 取引 消去	合 計
			施設の貸 与等事業	販売手数料及び 出展広告料に 関する事業	福利厚生等に 関する事業	計			
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
(1)特定資産運用収入	[189,690]	[34]	[34]	[698]	[766]	[180,002]	[△0]	[370,458]	
特定資産利息収入	189,690	34	34	698	766	180,002		370,458	
(2)入会金収入	[17,238,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[17,238,000]	[△0]	[34,476,000]	
入会金収入	17,238,000	0	0	0	0	17,238,000		34,476,000	
(3)会費収入	[74,901,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[74,901,000]	[△0]	[149,802,000]	
正会員会費収入	74,901,000	0	0	0	0	74,901,000		149,802,000	
(4)事業収入	[186,165,393]	[480,000]	[2,120,205]	[150,961]	[2,751,166]	[3,405,128]	[△0]	[192,321,687]	
研修会参加料収入	50,396,700	0	0	0	0	0		50,396,700	
看護職員の資質向上研修事業受託料収入	11,912,212	0	0	0	0	0		11,912,212	
看護職員就労環境改善事業受託料収入	4,910,000	0	0	0	0	0		4,910,000	
ナースセンター事業受託料収入	22,812,000	0	0	0	0	0		22,812,000	
ナースセンター会館管理受託料収入	5,840,000	0	0	0	0	0		5,840,000	
訪問看護推進事業受託料収入	15,898,000	0	0	0	0	0		15,898,000	
小児救急電話相談事業受託料収入	1,086,000	0	0	0	0	0		1,086,000	
日本看護協会受託料収入	1,379,196	0	0	0	0	3,402,128		4,781,324	
訪問看護療養費収入	54,551,675	0	0	0	0	0		54,551,675	
基本利用料収入	4,088,569	0	0	0	0	0		4,088,569	
その他の利用料収入	1,356,792	0	0	0	0	0		1,356,792	
治験収入	1,133,000	0	0	0	0	0		1,133,000	
居宅介護支援事業収入	8,812,243	0	0	0	0	0		8,812,243	
手数料収入	939,600	0	2,120,205	0	2,120,205	0		3,059,805	
雑収入	1,049,406	480,000	0	150,961	630,961	3,000		1,683,367	
(5)補助金等収入	[12,174,200]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△0]	[12,174,200]	
自殺予防対策事業収入	2,740,000	0	0	0	0	0		2,740,000	
日本看護協会助成金収入	9,284,200	0	0	0	0	0		9,284,200	
精神身体活動助成金収入	150,000	0	0	0	0	0		150,000	
(6)寄付金収入	[1,000,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△0]	[1,000,000]	
寄付金収入	1,000,000	0	0	0	0	0		1,000,000	
(7)雑収入	[968,858]	[621]	[0]	[0]	[621]	[81,449]	[△0]	[1,050,928]	
利息収入	27,432	621	0	0	621	51,449		79,502	
雑収入	941,426	0	0	0	0	30,000		971,426	
事業活動収入計	292,637,141	480,655	2,120,239	151,659	2,752,553	95,805,579	△0	391,195,273	
2. 事業活動支出									
(1)事業費支出	[319,781,384]	[326,049]	[428,901]	[3,968,375]	[4,723,325]	[0]	[△0]	[324,504,709]	
役員報酬支出	21,235,089	36,359	36,359	54,239	126,957			21,362,046	
給与手当支出	120,877,951	52,827	52,827	343,377	449,031			121,326,982	
賞与支出	26,126,440	10,298	10,298	66,937	87,533			26,213,973	
通勤手当支出	6,131,105	5,415	5,415	25,048	35,878			6,166,983	
役員退職慰労金支出	4,266,400	4,420	4,420	20,442	29,282			4,295,682	
福利厚生費支出	26,071,312	17,185	17,185	79,483	113,853			26,185,165	
旅費交通費支出	5,292,297	0	0	0	0			5,292,297	
通信運搬費支出	7,218,546	648	0	70,644	71,292			7,289,838	
消耗什器備品費支出	1,911,669	278	278	1,208	1,764			1,913,433	
消耗品費支出	7,206,221	2,264	2,264	9,816	14,344			7,220,565	
修繕費支出	2,489,038	191	191	3,839	4,221			2,493,259	
印刷製本費支出	14,854,887	0	0	0	0			14,854,887	
燃料費支出	685,704	0	0	0	0			685,704	
光熱水料費支出	5,589,051	521	521	10,432	11,474			5,600,525	
貸借料支出	6,685,117	126,107	107	2,154	128,368			6,813,485	
保険料支出	1,578,438	99	99	1,989	2,187			1,580,625	
諸謝金支出	30,254,541	0	0	0	0			30,254,541	
租税公課支出	2,821,093	68,509	298,009	10,183	376,701			3,197,794	
負担金支出	76,600	0	0	0	0			76,600	
看護材料購入費支出	262,575	0	0	0	0			262,575	
管理諸費支出	11,911,161	928	928	3,258,584	3,260,440			15,171,601	
図書費支出	1,044,304	0	0	0	0			1,044,304	
雑支出	15,191,845	0	0	10,000	10,000			15,201,845	
(2)管理費支出	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[65,076,640]	[△0]	[65,076,640]	
役員報酬支出					0	2,738,523		2,738,523	

資金収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	会計区分	収 益 事 業 等 会 計				計	法人会計	内部取引 消去	合 計
		公益目的 事業会計	施設の貸 与等事業	販売手数料及び 出展広告料に 関する事業	福利厚生等 に関する事業				
給料手当支出					0	21,183,789		21,183,789	
賞与支出					0	4,129,535		4,129,535	
通勤手当支出					0	1,506,321		1,506,321	
役員退職慰労金支出					0	1,229,318		1,229,318	
福利厚生費支出					0	5,680,800		5,680,800	
旅費交通費支出					0	1,315,637		1,315,637	
通信運搬費支出					0	2,822,049		2,822,049	
消耗什器備品費支出					0	73,699		73,699	
消耗品費支出					0	598,589		598,589	
修繕費支出					0	946,365		946,365	
印刷製本費支出					0	2,977,170		2,977,170	
光熱水料費支出					0	2,571,879		2,571,879	
賃借料支出					0	2,533,071		2,533,071	
保険料支出					0	490,482		490,482	
諸謝金支出					0	625,370		625,370	
租税公課支出					0	2,520,766		2,520,766	
負担金支出					0	272,500		272,500	
管理諸費支出					0	4,581,242		4,581,242	
交際費支出					0	354,271		354,271	
雑支出					0	5,925,264		5,925,264	
事業活動支出計		319,781,384	326,049	428,901	3,968,375	4,723,325	65,076,640	△ 0	389,581,349
他会計振替収支調整前事業活動収支差額		△ 27,144,243	154,606	1,691,338	△ 3,816,716	△ 1,970,772	30,728,939	△ 0	1,613,924
他会計振替収支額		800,000		△ 800,000	3,857,456	3,057,456	△ 3,857,456		0
事業活動収支差額		△ 26,344,243	154,606	891,338	40,740	1,086,684	26,871,483	△ 0	1,613,924
Ⅱ 投資活動収支の部									
1. 投資活動収入									
(1)特定資産取崩収入		[6,266,400]	[4,420]	[4,420]	[20,442]	[29,282]	[1,229,318]	[△0]	[7,525,000]
退職給付引当資産取崩収入		4,266,400	4,420	4,420	20,442	29,282	1,229,318		5,525,000
車両運搬具取得資金取崩収入		2,000,000	0	0	0	0	0		2,000,000
(2)固定資産売却収入		[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△0]	[1]
車両運搬具売却収入		1	0	0	0	0	0		1
(3)敷金・保証金戻り収入		[6,540]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△0]	[6,540]
リサイクル預託金戻り収入		6,540	0	0	0	0	0		6,540
投資活動収入計		6,272,941	4,420	4,420	20,442	29,282	1,229,318	△ 0	7,531,541
2. 投資活動支出									
(1)特定資産取得支出		[30,362,301]	[6,080]	[6,080]	[107,778]	[119,938]	[6,210,797]	[△0]	[36,693,036]
役員退職慰労引当資産取得支出		3,088,800	3,200	3,200	14,800	21,200	890,000		4,000,000
退職給付引当資産取得支出		6,079,920	2,880	2,880	13,320	19,080	801,000		6,900,000
看護会館取得資金取得支出		20,693,581	0	0	79,658	79,658	4,119,797		24,893,036
車両運搬具取得資金取得支出		500,000	0	0	0	0	0		500,000
記念事業積立資金取得支出		0	0	0	0	0	400,000		400,000
(2)固定資産取得支出		[5,672,519]	[718]	[718]	[4,215]	[5,651]	[517,531]	[△0]	[6,195,701]
建物建設支出		354,361	70	70	1,404	1,544	346,095		702,000
構築物建設支出		0	0	0	0	0	0		0
車両運搬具購入支出		1,647,354	0	0	0	0	0		1,647,354
什器備品購入支出		836,583	385	385	1,669	2,439	101,766		940,788
図書購入支出		128,663	0	0	0	0	0		128,663
その他資産購入支出		2,705,558	263	263	1,142	1,668	69,670		2,776,896
(3)敷金・保証金支出		[17,120]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△0]	[17,120]
リサイクル預託金支出		17,120	0	0	0	0	0		17,120
投資活動支出計		36,051,940	6,798	6,798	111,993	125,589	6,728,328	△ 0	42,905,857
投資活動収支差額		△ 29,778,999	△ 2,378	△ 2,378	△ 91,551	△ 96,307	△ 5,499,010	△ 0	△ 35,374,316
Ⅲ 財務活動収支の部									
1. 財務活動収入									
財務活動収入計		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
2. 財務活動支出									
財務活動支出計		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
財務活動収支差額		0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期収支差額		△ 56,123,242	152,228	888,960	△ 50,811	990,377	21,372,473	△ 0	△ 33,760,392
前期繰越収支差額		△ 6,375,165	3,442,428	1,191,879	2,518	4,636,825	227,339,271		225,600,931
次期繰越収支差額		△ 62,498,407	3,594,656	2,080,839	△ 48,293	5,627,202	248,711,744	△ 0	191,840,539

資金収支計算書に対する注記

1. 資金収支計算書の作成方法

資金収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議監事申合せ）の規定事項及び「公益法人会計基準の運営指針」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）の様式を参考に作成している。

2. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、立替金、前払費用、仮払金、未払金、リース債務、前受金、前受会費、預り金及び仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載のとおりである。

3. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	245,978,667	311,319,822
未収入金	112,208,800	12,198,947
立替金	88,725	0
前払費用	800,317	847,381
合計	359,076,509	324,366,150
未払金	31,500	0
リース債務	3,777,750	2,771,778
前受金	5,616,000	5,652,000
前受会費	122,586,000	122,664,000
預り金	1,464,328	1,437,833
合計	133,475,578	132,525,611
次期繰越収支差額	225,600,931	191,840,539

独立監査人の監査報告書

平成27年4月22日

公益社団法人 千葉県看護協会
会長 星野 恵美子 様

大嶋良弘公認会計士事務所

公認会計士 大嶋良弘 

私は、公益社団法人千葉県看護協会の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表(貸借対照表内訳表を含む。)、正味財産増減計算書(正味財産増減計算書内訳表を含む。)及び財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録及び資金収支計算書について監査を行った。

この財務諸表の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び管理規約に準拠して、公益社団法人千葉県看護協会の平成26年度の収支の状況及び同年度末日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人千葉県看護協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

公益社団法人千葉県看護協会
会 長 星野 恵美子 様

平成 26 年度における公益社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の管理、執行状況について監査を行ったので、その結果を報告する。

なお、監査は、平成 26 年度監事監査実施計画に基づき、第 1 回を平成 26 年 10 月 29 日に、第 2 回を平成 27 年 4 月 28 日に実施したものである。

監査の方法は次のとおりである。

- 1 業務に関する事項については、事業実績に関する調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長(代表理事)及び業務執行理事から報告と説明を受け、関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関する事項については、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書により報告と説明を受け、また公認会計士からの報告を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

監査意見

監査の結果、業務執行、予算執行、財産の管理について正確かつ適正に処理されていることを認める。

平成 27 年 4 月 28 日

公益社団法人千葉県看護協会

監 事 清水延部

監 事 石 沢 夏 子

監 事 松 永 敏 子

第2号議案 定款変更について

【定款変更の趣旨】

これからの超高齢社会においては多くの介護サービスが必要となり医療提供体制では一層の在院日数の短縮化が進み、地域や在宅などの暮らしの場で長期的な医療依存度が高い高齢者を支える仕組みの充実が求められる中で、病院以外の領域（介護・福祉関係施設、在宅等領域）を取り巻く環境は大きく変化している。

そこで、看護領域ごとの独自の課題・問題点等に適切に対応できるよう体制の整備と活動の充実を図るため、理事会において看護師職能委員会を①病院領域（領域Ⅰ）及び②介護・福祉関係施設・在宅等領域（領域Ⅱ）の2領域に区分することについて提案し、承認を得た。

これを受けて、看護師職能理事(領域Ⅱ)を新たに設置する必要があるため本定時総会において以下のとおり定款第21条（役員の定数）の変更を提案する。

なお、手続きとしては、①現員の理事数(19名)を変更せず、その中から領域Ⅱの理事を選任する。②本案に関連する職能委員会設置運営規程の改正（委員会の区分及び委員の構成）は、本定時総会において承認が得られた場合に定款変更の効力が生じる総会終了後の最初の理事会において諮るものとする。

看護師職能委員会の領域区分に伴う定款変更（案）

現 行 定 款	変 更 案（下線部分が変更箇所）
（役員の設置） 第21条 この法人には、次の役員を置く。 (1) 理事 18名以上21名以内 (2) 監事 3名 理事のうち1名を会長、2名を副会長、 1名を専務理事、3名以内を常任理事、 3名を職能理事（保健師、助産師及び看 護師それぞれ1名）とする。 2（省略）	（役員の設置） 第21条 この法人には、次の役員を置く。 (1) 理事 18名以上21名以内 (2) 監事 3名 理事のうち1名を会長、2名を副会長、 1名を専務理事、3名以内を常任理事、 4名を職能理事（保健師及び助産師はそ れぞれ1名、看護師は2名）とする。 2（省略）
附則 1（省略）	附則 1～3（省略） 附則 <u>一部変更</u> 平成27年6月18日から施行する。 （ <u>第21条第1項職能理事の定数変更</u> ）

※（注）定款変更後の職能委員会の構成は次のとおり（職能委員会設置運営規程改正案）

- (1) 保健師職能委員会
- (2) 助産師職能委員会
- (3) 看護師職能委員会
 - ① 領域Ⅰ（病院領域）
 - ② 領域Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）

第 3 号議案 平成27年度役員及び推薦委員の選出について

- 1 定款第 22 条及び選挙運営規則第 2 条、役員を選任に関する規程第 2 条の規定により、本日の定時総会において平成 27 年度改選にかかる理事・監事、推薦委員の選挙を執行し、この選挙結果に基づき当総会の承認により理事及び推薦委員を選任することとする。
- 2 選挙運営規則第 7 条の規定により選挙管理委員を指名する。

選 挙（役員等候補者）

I 役員（理事・監事）候補者

【理事】（選出数 7 名）

役 職	推薦・立候補の別	氏 名	職 種	所 属	※ 役職理事
理 事	推 薦	石 井 邦 子	助	千葉県立保健医療大学	副 会 長 候 補
理 事	推 薦	澤 田 いつ子	保	公益社団法人 千葉県看護協会	専 務 理 事 候 補
理 事	推 薦	石 井 市 枝	保	安房健康福祉センター	保健師職能理事候補
理 事	推 薦	山 崎 潤 子	看	緑が丘訪問看護ステーション	看護師職能理事(領域Ⅱ)候補
理 事	推 薦	小賀坂 好子	保	帝京大学ちば総合医療センター	—
理 事	推 薦	増 渕 美恵子	助	日本医科大学千葉北総病院	—
理 事	推 薦	佐 藤 絹 代	看	医療法人社団聖仁会我孫子聖仁会病院	—

(注) ※理事の選任は、選挙結果に基づく当総会の選任決議による。

※役職理事の選任について、当総会の選挙結果を平成27年度の役職理事の選任にかかる理事会へ総会の意見として提案する。

II 【監事】（選出数 1 名）

役 職	推薦・立候補	氏 名	職 種	所 属
監 事	推 薦	石 渕 夏 子	助	医療法人社団紺整会船橋整形外科病院

※監事の選任は、選挙結果に基づく当総会の選任決議による。

III 推薦委員候補者

【選出数 7 名 推薦委員候補者数 8 名】

役 職	推薦・立候補	氏 名	職 種	所 属
推薦委員	推 薦	池 田 美佐子	保	君津健康福祉センター
推薦委員	推 薦	梅 澤 明 美	助	千葉中央看護専門学校
推薦委員	推 薦	佐 瀬 けい子	看	医療法人社団翠明会 山王病院
推薦委員	推 薦	石 原 照 子	看	東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター
推薦委員	推 薦	関 口 明 美	看	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院
推薦委員	推 薦	大 坂 美 穂	看	千葉県立佐原病院
推薦委員	推 薦	結 城 千 佳	看	医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院
推薦委員	立候補	古 野 ゆみ子	看	社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会千葉健生病院

※推薦委員の選任は、当総会における選挙結果による。

第 4 号議案 会員以外の者からの監事の選任について

定款第21条・第22条、役員を選任に関する規程第5条の規定により、会員以外の者からの監事の選任について、以下のとおり理事会の推薦があったので、承認を求める。

監事候補者 飯塚忠義（在宅）

第 5 号議案 （公社）千葉県看護協会スローガンについて

当協会のスローガンとして前年度のものを継続していくことを理事会で承認されたので、以下のとおり提案する。

千葉県看護協会スローガン

「看護の専門性と

職能団体としての力を発揮し、

県民の健康な生活を支えよう」

- ※ スローガンは、その年度の当協会の方向性をアピールするものとして、これまで年度ごとに検討し承認を得てきました。公益社団法人としてスタートした平成24年度からは、上記スローガンが千葉県看護協会の方向性として適切であると判断し、これまで修正を行わずに事業に取り組んでまいりました。平成27年度から上記を千葉県看護協会のスローガンとして継続していくこととし、5年ごとに見直すこととします。なお、社会状況の変化等が生じた場合には5年以内であっても改定することとします。

第6号議案 平成28年度（公社）日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について

以下のとおり推薦委員会から候補者の推薦があったので、これらの者を平成28年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員に選出することを求める。

平成28年度 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者

【代議員】

	地区	氏名	シメイ	職種	所 属	区 分
1	理事等	澤田 いつ子	サワダ イツコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会	専務理事候補
2		石渡 祥子	イシワタリ ショウコ	看	成田赤十字病院	副会長
3		石井 市枝	イシイ イチエ	保	安房健康福祉センター	保健師職能候補
4		大澤 豊子	オオサワ トヨコ	助	帝京平成大学 地域医療学部看護学科	助産師職能
5		寺口 恵子	テラグチ ケイコ	看	東邦大学医療センター佐倉病院	看護師職能I
6		山崎 潤子	ヤマザキ ジュンコ	看	緑が丘訪問看護ステーション	看護師職能理事(領域II)候補
7		高津 さち子	タカツ サチコ	准	医療法人社団優仁会 鈴木神経科病院	理事
8	千葉	荒木 暁子	アラキ アキコ	保	千葉県千葉リハビリテーションセンター	
9		久保 悦子	クボ エツコ	看	千葉市立青葉病院	
10		荻野 絹子	オギノ キヌコ	看	医療法人柏葉会 柏戸病院	
11	市原	赤井 ユキ子	アカイ ユキコ	看	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	
12		川上 節子	カワカミ セツコ	看	千葉県循環器病センター	
13	船橋	松下 美幸	マツシタ ミユキ	看	医療法人社団協友会 船橋総合病院	
14		荒澤 恵子	アラサワ ケイコ	看	社会医療法人社団木下会 鎌ヶ谷総合病院	
15		山崎 住江	ヤマザキ スミエ	看	東京女子医科大学八千代医療センター	
16	市川	カーン 洋子	カーン ヨウコ	保	順天堂大学医学部附属浦安病院	
17		伊藤 多津子	イトウ タツコ	看	医療法人友康会 行徳中央病院	
18	松戸	関口 明美	セキグチ アケミ	看	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院	
19	東葛	旗谷 晴美	ハタヤ ハルミ	看	医療法人社団曙会 流山中央病院	
20		大下 照子	オオシタ テルコ	看	医療法人社団江陽会 江陽台病院	
21	印旛	高木 智美	タカギ トモミ	看	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院	
22		纈 纈 真砂美	コウケツ マサミ	看	医療法人社団愛信会 佐倉中央病院	
23		利根 豊田 栄子	トヨダ エイコ	看	国保小見川総合病院	
24	山武	石原 照子	イシハラ テルコ	看	東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター	
25	長夷	倉津 与之美	クラツ ヨシミ	看	医療法人社団正朋会 穴倉病院	
26	君津	板倉 朋子	イタクラ トモコ	看	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院	
27	安房	関口 友子	セキグチ トモコ	看	医療法人光洋会 三芳病院	

【予備代議員】

	選出区分	氏名	シメイ	職種	所 属	区 分
1	理事等	石井 邦子	イシイ クニコ	助	千葉県立保健医療大学	副会長候補
2		福留 浩子	フクドメ ヒロコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会	常任理事
3		橋野 恭子	ハシノ キョウコ	助	公益社団法人 千葉県看護協会	常任理事
4		伊藤 幸子	イトウ ユキコ	看	在宅	理事
5		増渕 美恵子	マスブチ ミエコ	助	日本医科大学千葉北総病院	理事候補
6		石渕 夏子	イシブチ ナツコ	助	医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院	監事候補
7	千葉	白井 美由紀	シライ ミユキ	准	医療法人萩仁会 萩原病院	
8		武井 真寿子	タケイ マジュコ	看	医療法人社団翠明会 山王看護専門学校	
9		大越 友美	オオコシ トモミ	看	千葉県救急医療センター	
10		藤澤 里子	フジサワ サトコ	看	千葉中央看護専門学校	
11		竹内 義美	タケウチ ヨシミ	看	医療法人学而会 木村病院	
12	市原	小賀坂 好子	コガサカ ヨシコ	保	帝京大学ちば総合医療センター	
13	船橋	西戸 加奈子	ニシト カナコ	看	医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院	
14		菊地 真知子	キクチ マチコ	看	医療法人社団保健会 谷津保健病院	
15	市川	井上 薫	イノウエ カオル	保	船橋市立医療センター	
16		岡本 育代	オカモト イクヨ	看	東京歯科大学市川総合病院	
17		渡部 民子	ワタナベ タミコ	看	医療法人社団やしの木会 浦安中央病院	
18	松戸	山賀 好美	ヤマガ ヨシミ	看	医療法人財団松園会 東葛クリニック病院	
19	東葛	菊地 薫	キクチ カオル	看	医療法人社団創造会 平和台病院	
20		長沢 順子	ナガサワ ジュンコ	看	医療法人社団葵会 千葉・柏リハビリテーション病院	
21	印旛	上野 真知子	ウエノ マチコ	看	成田赤十字病院	
22		中村 智子	ナカムラ トモコ	看	独立行政法人国立病院機構 下志津病院	
23	利根	村山 敦子	ムラヤマ アツコ	看	国保多古中央病院	
24	山武	塚原 信江	ツカハラ ノブエ	看	季美の森リハビリテーション病院	
25	長夷	宮嶋 里美	ミヤジマ サトミ	看	医療法人SHIODA 塩田病院	
26	君津	岡崎 弘子	オカザキ ヒロコ	看	医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院	
27	安房	君塚 真弓	キミヅカ マユミ	看	医療法人明星会 東条病院	

候補者の所属は、3月31日時点の会員登録情報による。

報 告 事 項

平成27年度 （公社）千葉県看護協会事業計画及び収支予算について

平成27年度事業計画及び収支予算について理事会において承認されたので、報告する。

平成27年度 (公社) 千葉県看護協会事業計画について

各事業の実施計画について報告する。

【重点項目・重点事業】

- 1 看護職が働き続けられる労働環境づくりの推進
- 2 安全で安心な専門性の高い看護を提供するための教育の充実
- 3 地域包括ケアシステムの構築の推進
- 4 超少子高齢社会（2025年）を見据えた看護職の育成・確保
- 5 統括的役割を担う保健師の配置の推進と人材育成による機能強化
- 6 妊娠から出産・育児における安全・安心な助産ケアの確保

※項目は定款第4条の事業に基づき区分

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。	1. 生涯教育	(1)生涯教育(51コース) ①資格修得教育 8コース ・医療安全管理者養成研修 ・認定看護管理者制度教育課程 ファースト・セカンドレベル教育課程 ・教員養成講習会 ・保健師助産師看護師実習指導者講習会 (特定分野) ・実習指導者講習会 ②ステップアップ研修 21コース ・段階別ステップアップ研修 (新人看護職員研修、2年目、管理者等) ・領域別ステップアップ研修 (がん、感染、認知症、災害等) ③看護実践コース 22コース ・地域包括ケアシステムの中の看護活動 ・エンドオブライフケア (ELNEC-J) 等 千葉県委託事業 (再掲) ①新人看護師研修 ②新人助産師研修 ③実地指導者研修 ④新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 ⑤教員養成講習会 ⑥実習指導者講習会 ⑦保健師助産師看護師実習指導者講習会 (特定分野) ⑧介護職員等対象の略痰吸引等に関する指導者研修	公益目的事業 会 計
		2. 助産師出向支援	(1)平成28年度助産師出向支援事業実施に関わる事前実態調査	
		3. 千葉県看護研究学会	(1)第34回千葉県看護研究学会 日時 平成28年2月26日 (金) 場所 未定	
		4. 図書室の管理運営	(1)図書室の管理運営 (2)資料・文献検索・レファレンス	
		5. 委員会の開催	(1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会 年6回 ②第34回千葉県看護研究学会実行委員会 年8回 ③認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回	
小 計			99,304	
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	1. 第3次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	(1)第3次千葉県看護職定着確保対策推進計画の数値目標評価 (2)第4次千葉県看護職定着確保対策推進計画の策定 (3)看護職定着・確保対策協議会の開催 (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ①「看護ちば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通じた普及 (5)労働環境改善委員会の開催 年6回	公益目的事業 会 計
		2. 看護職の労働環境の向上	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進会議の開催 年5回 ②WLBワークショップ ・事前研修会の開催 ・WLBワークショップの開催 6施設予定 既取組み施設15施設 ・WLBワークショップ、フォローアップワークショップの開催 ③評価会議の開催 (取組3年目施設) ④インデックス調査 ⑤WLB推進の普及啓発及び就労環境改善のための研修会開催 ⑥相談窓口開設 ⑦アドバイザー派遣	
		3. 看護進路相談事業	(1)出前授業 (いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業	

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	4. ナースセンター事業 (千葉県委託)	(1)看護職の定着・確保に係る実態調査 (2)看護職の無料職業紹介 ・第5次ナースセンターコンピュータシステム (NCCS) 運用開始 (5年間) (3)届出制度 ①届出制度の運用 ②届出制導入前のナースセンターの新たな役割検討委員会 2回程度 (4)未就業看護職の就業支援 ①看護職再就業講習会 ②ハローワークにおける就業相談 (松戸1回/月→2回/月 成田・船橋 拡充) ③看護基礎技術講習会 ④訪問看護基礎研修会 ・半日コース 年6回 (地域別) ・1日コース 年2回 (看護会館) ⑤合同就職説明会の開催 ⑥看護職への求人情報の提供 ⑦サテライト事業の推進 ・ハローワークと連携した相談ブースの設置 (再掲) ・合同就職説明会の開催 (再掲) ・再就業支援のための交流会の開催 2回/年 (1回はナースセンター、1回は地区にて開催) (5)ナースセンター事業の広報 (6)ナースセンター運営委員会の開催 年1回 (7)関係機関との連携 (日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等) (8)「看護の日」に知事表彰授与を県と共催 (9)看護進路相談事業(再掲) (10)ナースセンターの維持管理	公益目的事業 会計
		5. 医療・看護における安全対策	(1)医療・看護に関する相談支援、情報提供 (2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ・日 時 平成27年11月8日 (日) ・場 所 幕張メッセ国際会議場 ②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 ・ポスター等による普及啓発 (3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者交流会 (4)関係機関等との連携促進 (5)医療安全委員会の開催 年6回	
小 計				50,554
③ 訪問看護の推進に関する事業	在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。	1. 訪問看護推進事業 (千葉県委託)	(1)訪問看護推進協議会の開催 (2)訪問看護に関する総合相談の実施 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①訪問看護サービスの普及 ・リーフレットの作成 ・普及活動	公益目的事業 会計
		2. 訪問看護推進事業 (協会単独事業)	(1)訪問看護師人材育成事業 ①「新卒等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 ②訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催 (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ①「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」導入支援事業 ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及 ・看護の質評価システムの実装 ・看護の質評価システムの評価会議の開催 ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の導入支援 ②「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業 ・経営診断シミュレーションシステムの普及 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①看看連携フォーラム(印旛地区) ②看看ケアマネ連携フォーラム(千葉地区)	
		3. 関係機関との連携	(1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 (2)医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携	
小 計				10,222
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への誓いを深める。	1. 「看護の日」「看護週間」事業	(1)第25回県民が集う「看護の日」事業 【テーマ】 地域で輪となりつなげる看護 ①中央行事 平成27年5月23日 (土) ・場 所 アパホテル「ト東京」幕張 ・内 容 式典、知事表彰、看護体験記表彰、講演 ②地区部会行事 平成27年5月16日 (土) ・場 所 12地区部会が決定した場所 ・内 容 地区独自の事業 (測定、体験、助産師の仕事PR、相談等) ③実行委員会の開催 (3回)	公益目的事業 会計

項目	目的	事業	内容 (新規事業:ゴシック)	予算 (単位:千円)
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への誓いを深める。	2. 「まちの保健室」事業	(1)常設型の開催 ①開催場所 12地区部会が決定した場所 (2)イベント型の積極的な開催	公益目的事業 会計
		3. 自殺予防対策	(1)心の総合相談 ①専用電話・専用メールによる相談対応 ②自殺予防に関する広報 (2)人材育成研修の開催 (再掲) ①「うつ傾向にある患者への関わり方」(再掲) ②「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」(再掲)	
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業		4. 千葉県小児救急電話相談事業	(1)相談員の登録・管理 (2)相談員の勤務調整 (3)相談員研修会の開催 (4)小児救急電話相談事業協議会への出席	公益目的事業 会計
		5. 災害支援対策事業	(1)災害支援ネットワークの強化 ①千葉県看護協会災害対策本部の設置 ②災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 ③平常時における連携 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 (2)災害に備えた支援体制の整備 ①災害支援ナースの登録促進 ②災害支援ナースの登録・管理 ③災害時の災害支援ナースの派遣調整 ④災害時必要物品の管理 (3)災害支援ナースの育成 ①災害看護研修(基礎編・実践編)(再掲) ②災害支援ナースフォローアップ研修	
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業		6. 関係機関・他団体への協力	(1)研修会等への講師紹介や派遣 (2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣	公益目的事業 会計
		小 計		
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。	1. 職能委員会 (職能)	(1)保健師職能委員会 年6回程度 (2)助産師職能委員会 年6回程度 (3)看護師職能委員会 年6回程度	公益目的事業 会計
		2. 職能集会・交流会 (職能)	(1)職能集会 ①保健師職能集会 ②助産師職能集会 ③看護師職能集会(領域Ⅰ) ④ 看護師職能集会(領域Ⅱ) (2)各職能別交流会 ①保健師職能交流会 ②助産師職能交流会 (管理者、中堅) ③看護師職能交流会(領域Ⅰ) ④ 看護師職能交流会(領域Ⅱ) ⑤准看護師交流会	
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		1. 県行政等への要望・意見具申 (看護制度)	(1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (2)県議会等の活動への協力依頼等 (3)千葉県医療審議会等への参画	公益目的事業 会計
		2. 看護関連施策に対する提言 (看護制度)	(1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ③特定行為に係る看護師の研修制度への普及	
小 計				4,958
⑥ 指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	1. 訪問看護事業	(1)質の高い訪問看護の提供 (2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実	公益目的事業 会計
		2. 居宅介護支援事業	(1)質の高いケアプランの提供 (2)地域のネットワークづくり (3)利用者の申請代行	
⑥ 指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業		3. 訪問看護の普及	(1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ	公益目的事業 会計
		4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備	(1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年3回	

項目	目的	事業	内 容 (新規事業・ゴシック)	予 算 (単位:千円)
⑥ 事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携	(1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 (2)利用者確保のための広報活動	公益目的事業 会 計
		6. 職員の資質の向上	(1)事例検討会 (2)研修会・学会等への参加 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)	
			小 計	73,162
	県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。	1. 地区部会活動事業	(1)地区部会活動 ①役員会 年5回程度 ②連絡会 年2回程度 ③研修会 年3回 ④まちの保健室の開催 (再掲) ⑤「看護の日」「看護週間」事業 (再掲) ⑥その他、地域固有の事業 (2)看護職定着確保対策の推進 ①地区における看護師等就業相談事業	公益目的事業
		1. 情報提供、広報事業	(1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 年4回 ②協会パンフレット等の活用 (2)広報委員会の開催 年6回	
			小 計	60,249
	当協会会員に対する相互扶助等の(福利厚生)事業を行う。	1. 会員サービス・福祉の充実等	(1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病氣見舞い (4)災害時の支援 (5)会員福利厚生サービスの実施・広報	収 益 事業等 会 計
			小 計	4,596
⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。	1. 組織運営に関する会議等の開催	(1)総会 年1回 ①日時：平成27年6月18日(木) ②場所：ホテルポートプラザちば (2)理事会 年6回程度 (3)施設等会員代表者会 年2回 (4)地区部会長会 年2回 (5)保助看護能委員会 年6回程度 (6)推薦委員会 年6回程度 (7)常任委員会 (再掲) 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増進委員会 (8)千葉県看護連盟との連携 ①合同研修会 2回	法 人 会 計
		2. 会員増の促進	(1)新規入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 (2)継続会員への勸奨 (3)再入会者への入会促進 (4)会員増進委員会の開催 年6回	
		3. 公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等)	(1)平成27年度事業計画・収支予算等の提出 (2)平成26年度定期報告(事業報告・決算報告等) (3)役員等の変更登記及び届出	
		4. 日本看護協会との連携	(1)法人会員会・理事会 (2)職能委員長会 (3)日本看護協会通常総会代議員選出	
		5. 行政等との連携	(1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援	
		6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生	(1)研修の実施 (2)健康診断	
		7. 看護会館の維持管理に関する事業	(1)看護会館の保全等 ①安全管理 ・火災、防災訓練 ・消防用設備等の点検 ・設備の整備、点検(下水管・雨漏り修繕等) ②環境整備 ・エコの積極的な取り組み	
			小 計	69,517
予 算 合 計				389,756

平成27年度 公益社団法人千葉県看護協会収支予算について

平成27年度予算の概要

1 予算編成方針

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、予算の編成にあたっては、公益目的事業を重視し、事業計画を円滑かつ効率的に推進するため、限りある収入を効果的に活用することを旨に、重点事業を設定し、また個別事業ごとに事業の内容を精査し、経費を積算したうえで予算を編成したものである。

2 予算の作成方式

(1) 法令により新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」を適用しており、収支予算は、新基準に基づいた「損益ベース」の収支予算書で構成している。

* 「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

(2) 収支予算は、大きく「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計（全体管理費）」の3つの会計区分として構成される。

(3) 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。

(4) 「収益事業等会計」は、収益事業「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、その他の事業（相互扶助（共益）事業）「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。

(5) 平成27年度予算は、公益社団法人の法定要件として求められる、次の財務三基準を考慮して作成し、これらの基準をクリアーしている。

- ① 公益目的事業に係る収入が事業実施に要する費用を超えないこと（収支相償の原則）
- ② 公益目的事業比率が事業費全体の50%以上となるものであること（50%ルール）
- ③ 遊休財産額（用途を定めない財産）が保有制限額を超えていないこと

3 予算の構成等

(1) 概況

① 全体予算の規模は、収益で394,868千円、費用で389,756千円である。

前年度予算との比較において主な点は以下のとおりである。

イ) 資質向上（県）事業	：	13,088千円→28,343千円
・看護教員養成研修事業（受託事業）今期実施	：	16,000千円増
ロ) 訪問看護推進事業等（受託事業）	：	14,260千円→5,219千円
・訪問看護師人材育成事業（受託事業）事業終了	：	10,000千円減
ハ) 就業環境改善事業（受託事業）事業終了	：	4,910千円減

② 費用内訳は、次のとおりである。

公益目的事業	315,643千円（80.98%）
収益事業等	4,596千円（ 1.18%）
法人会計	69,517千円（17.84%）
計	389,756千円（ 100%）

(2) 特記事項

① 受取入会金及び受取年会費については過去の会員増加数をベースとして、入会数3,000人、会員数25,500人を見込み算定している。

② 受取入会金及び受取年会費については、制度上、原則として50%を「公益目的事業会計」に計上する必要がある等の理由から、「公益事業会計」と「共益事業・法人会計」に二分し、それぞれ50%を計上している。

ただし、実際の執行にあっては、法人会計から公益目的事業の費用も負担することとなる。

（入会金・年会費の50%だけを公益目的事業に用いるということではない。）

③ 県等他団体からの受託・補助等事業については、見込額をもとに予算を計上しているものである。

平成27年度 収支予算書（概要）

平成27年度 収支予算

（単位：千円）

経常収益計	394,868
経常費用計	389,756
当期経常増減額	5,112
当期一般正味財産増減額	5,112
正味財産期首残高	655,301
正味財産期末残高	660,413

収益の部

（単位：千円）

会計区分	科目	予算額	前年度 予算額	増減額	構成比率	
公益 目的 事業 会計	受取入会金	18,000	17,160	840	4.56%	
	受取年会費	76,500	74,817	1,683	19.37%	
	研修会参加料	52,188	49,611	2,577	13.22%	
	事業受託料 収益	看護職員の資質向上研修事業受託料（千葉県）	28,343	13,088	15,255	7.18%
		インターネット配信研修受託料（日本看護協会）	700	678	22	0.18%
		看護職員の就労環境改善事業受託料（千葉県）	0	4,910	△4,910	0.00%
		ナースセンター事業受託料・管理受託料（千葉県）	32,200	28,652	3,548	8.15%
		訪問看護推進事業受託料（千葉県）	5,219	14,260	△9,041	1.32%
		小児救急電話相談事業受託料（千葉県）	1,090	1,034	56	0.28%
		小計	67,552	62,622	4,930	17.11%
	受取補助金等	教育助成金（日本看護協会）	9,000	9,184	△184	2.28%
		看護の普及啓発助成金（日本看護協会）	100	100	0	0.03%
		自殺予防対策事業補助金（千葉県）	0	2,740	△2,740	0.00%
		精神身体疾患併発患者研修事業助成金（千葉県病院協会）	0	150	△150	0.00%
		小計	9,100	12,174	△3,074	2.30%
	受取寄付金	0	1,000	△1,000	0.00%	
	その他事業収益（受取手数料）	870	1,195	△325	0.22%	
	特定資産受取利息及び雑収益（受取利息・雑収益） ※訪看・居宅事業分を除く	188	793	△605	0.05%	
	訪問看護・居宅介護支援事業収益	71,348	71,245	103	18.07%	
	公益目的事業 計	295,746	290,617	5,129	74.90%	
収益事業等 会計	施設の貸与等事業	481	482	△1	0.12%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	0	2,149	△2,149	0.00%	
	会員福利厚生等に関する事業	151	146	5	0.04%	
	収益事業等 計	632	2,777	△2,145	0.16%	
法人 会計	受取入会金	18,000	17,160	840	4.56%	
	受取年会費	76,500	74,817	1,683	19.37%	
	会員管理受託料・総会代議員業務受託料（日本看護協会）	3,402	3,402	0	0.86%	
	特定資産受取利息及び雑収益	588	379	209	0.15%	
	法人会計 計	98,490	95,758	2,732	24.94%	
経常収益計		394,868	389,152	5,716	100.00%	

費用の部

(単位：千円)

会計区分	定 款 事 業		予算額	前年度 予算額	増減額	構成比率		
公 益 目 的 事 業	①	教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	資質向上	生涯教育	67,546	75,940	△8,394	17.33%
				千葉県看護研究学会				
				図書室の管理運営				
				委員会の開催				
		資質向上(県)	千葉県委託研修	31,758	17,188	14,570	8.15%	
	小 計			99,304	93,128	6,176	25.48%	
	②	看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の策定	11,347	10,612	735	2.91%
				看護職の労働環境の向上				
				看護進路相談事業				
		ナースセンター事業(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	32,226	28,652	3,574	8.27%	
		医療看護安全	医療・看護における安全対策	6,981	6,914	67	1.79%	
	小 計			50,554	46,178	4,376	12.97%	
	③	訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	訪問看護師人材育成事業	4,808	16,567	△11,759	1.23%
				訪問看護ステーションIT化等推進事業				
				関係機関との連携				
		訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(千葉県委託)	5,414	15,090	△9,676	1.39%	
	小 計			10,222	31,657	△21,435	2.62%	
	④	県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	「看護の日」「看護週間」事業	12,271	12,289	△18	3.15%
				「まちの保健室」事業				
				自殺予防対策				
千葉県小児救急電話相談事業								
関係機関・他団体への協力								
災害救護対策			災害支援対策事業	4,923	5,092	△169	1.26%	
		関係機関・他団体への協力						
小 計			17,194	17,381	△187	4.41%		
⑤	看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会	4,316	4,108	208	1.11%	
			職能集会・交流会					
		看護制度	県行政等への要望、意見具申	642	647	△5	0.16%	
			看護関連施策に対する提言					
小 計			4,958	4,755	203	1.27%		
⑥	介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	73,162	99,619	△26,457	18.77%	
			居宅介護支援事業					
			訪問看護の普及					
			地域ニーズに応じた運営体制の整備					
			医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携					
			職員の資質の向上					
小 計			73,162	99,619	△26,457	18.77%		
⑦	その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	地区部会	地区部会活動事業	12,136	11,236	900	3.11%	
		広報	情報提供、広報事業	12,242	13,658	△1,416	3.14%	
		公益目的事業共通	各公益目的事業に係る共通経費	35,871	37,125	△1,254	9.20%	
		小 計		60,249	62,019	△1,770	15.46%	
公益目的事業 計			315,643	354,737	△39,094	80.98%		
収 益 事 業 等 会 計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費		599	605	△6	0.15%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	(事業休止中)		0	437	△437	0.00%	
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費		3,997	4,032	△35	1.03%	
収益事業等 計			4,596	5,074	△478	1.18%		
法 人 会 計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会 その他)		69,517	72,089	△2,572	17.84%		
	その他一般管理費							
	法人会計 計			69,517	72,089	△2,572	17.84%	
経 常 費 用 計			389,756	431,900	△42,144	100.00%		

平成27年度予算 正味財産増減計算書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	合計
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①特定資産運用益						
特定資産受取利息	185			1	1	183
②受取入会金						
受取入会金	18,000				0	18,000
③受取会費						
正会員受取会費	76,500				0	76,500
④事業収益						
イ) 研修会参加料						
教育研修会参加料	52,188				0	52,188
ロ) 事業受託料収入						
看護職員の資質向上研修事業受託料	28,343				0	28,343
ナースセンター事業受託料	26,360				0	26,360
ナースセンター会館管理受託料	5,840				0	5,840
訪問看護推進事業受託料	5,219				0	5,219
小児救急電話相談事業受託料	1,090				0	1,090
日本看護協会受託料	700				0	3,402
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益						
訪問看護療養費収益	57,196				0	57,196
基本利用料収益	4,003				0	4,003
その他の利用料収益 (訪看)	1,316				0	1,316
治験収益	1,000				0	1,000
居宅介護支援事業収益	7,056				0	7,056
その他の利用料収益 (居宅)	10				0	10
雑収益	730				0	730
二) その他事業収益						
受取手数料	870	480		150	630	1,500
⑤受取補助金等						
日本看護協会助成金	9,100				0	9,100
⑥受取寄付金						
受取寄付金	0				0	0
⑦雑収益						
受取利息	40	1			1	75
雑収益	0				0	330
経常収益計	295,746	481	0	151	632	98,490
						394,868

平成27年度予算 正味財産増減計算書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	合計	
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計		
(2) 経常費用							
役員報酬	20,860	36		53	89	2,706	23,655
給料手当	103,737	50		328	378	20,259	124,374
賞与	20,474	9		62	71	3,811	24,356
通勤手当	5,476	5		23	28	1,384	6,888
役員退職慰労引当金繰入額	2,373	2		11	13	686	3,072
退職給付費用	6,922	4		19	23	1,127	8,072
福利厚生費	22,749	16		72	88	4,969	27,806
旅費交通費	5,280				0	1,382	6,662
通信運搬費	7,673	1		70	71	3,023	10,767
減価償却費	14,834	276		32	308	4,980	20,122
消耗什器備品費	1,580			1	1	48	1,629
消耗品費	8,918	3		11	14	698	9,630
修繕費	803			2	2	493	1,298
印刷製本費	17,851				0	3,237	21,088
燃料費	720				0		720
光熱水料費	5,838	1		10	11	2,576	8,425
賃借料	4,949	126		2	128	2,414	7,491
保険料	1,446			2	2	473	1,921
諸謝金	32,943				0	580	33,523
租税公課	2,732	69		10	79	2,779	5,590
支払負担金	35				0	321	356
看護材料購入費	209				0		209
管理諸費	12,135	1		3,259	3,260	4,698	20,093
交際費	0				0	548	548
図書費	873				0	214	1,087
会議費	0				0	322	322
支払手数料	0				0	3,051	3,051
雑費 (その他の経費)	14,233			30	30	2,738	17,001
経常費用計	315,643	599	0	3,997	4,596	69,517	389,756
当期経常増減額	△19,897	△118	0	△3,846	△3,964	28,973	5,112
2. 経常外増減の部					0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,500			3,846	3,846	△7,346	0
当期一般正味財産増減額	△16,397	△118	0	0	△118	21,627	5,112
一般正味財産期首残高	283,922	7,271	1,196	0	9,054	362,325	655,301
一般正味財産期末残高	267,525	7,153	1,196	0	8,936	383,952	660,413
II 指定正味財産増減の部							
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	267,525	7,153	1,196	0	8,936	383,952	660,413

平成27年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(1)

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1						
	1 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業			3 訪問看護の推進に関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①特定資産運用益							
特定資産受取利息	120	11	2		1	1	5
②受取入会金							
受取入会金							
③受取会費							
正会員受取会費							
④事業収益							
イ) 研修会参加料							
教育研修会参加料	47,730	3,338				1,120	
ロ) 事業受託料							
看護職員の資質向上研修事業受託料		28,343					
ナースセンター事業受託料				26,360			
ナースセンター会館管理受託料				5,840			
訪問看護推進事業受託料							5,219
小児救急電話相談事業受託料							
日本看護協会受託料	700						
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益							
訪問看護療養費収益							
基本利用料収益							
その他の利用料収益(訪看)							
治験収益							
居宅介護支援事業収益							
その他の利用料収益(居宅)							
雑収益							
二) その他事業収益							
受取手数料	670						
⑤受取補助金等							
日本看護協会助成金	9,000						
⑥受取寄付金							
受取寄付金							
⑦雑収益							
受取利息							
雑収益							
経常収益計	58,220	31,692	2	32,200	1	1,121	5,224

公益目的事業会計 公1

4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業 (訪問看護ステーション)		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
3	1	1	1	2	1	1	150	28	7	35	185
							18,000	18,000		0	18,000
							76,500	76,500		0	76,500
							52,188			0	52,188
							28,343			0	28,343
							26,360			0	26,360
							5,840			0	5,840
							5,219			0	5,219
1,090							1,090			0	1,090
							700			0	700
							0	57,196		57,196	57,196
							0	4,003		4,003	4,003
							0	1,316		1,316	1,316
							0	1,000		1,000	1,000
							0		7,056	7,056	7,056
							0		10	10	10
							0	730		730	730
							200			0	870
100							9,100			0	9,100
							0			0	0
							38	38	2	2	40
							0			0	0
1,193	1	1	1	202	1	94,539	224,398	64,275	7,073	71,348	295,746

平成27年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(2)

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1							
	1 教育・研修等による 看護の質の向上に関 する事業		2 看護師等の労働環境等の改善、 就業促進等により、看護師等の 人材確保・定着に関する事業			3 訪問看護の推進に関 する事業		
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)	
(2) 経常費用								
役員報酬	4,355	621	2,175	765	654	321	278	
給料手当	15,286	6,410	3,528	8,921	1,445	470	1,052	
賞与	2,881	1,201	658	1,684	272	88	206	
通勤手当	1,150	431	261	649	123	45	75	
役員退職慰労引当金繰入額	577	207	128	323	61	22	33	
退職給付費用	941	346	215	527	100	37	62	
福利厚生費	3,612	1,332	819	2,027	386	142	246	
旅費交通費	78	516	12	350	16	78	12	
通信運搬費	1,144	642	26	1,274	309	349	688	
減価償却費	4,974	652	450		119	841	903	
消耗什器備品費	434	20	20	840	4	2	38	
消耗品費	1,592	1,984	395	1,291	124	61	581	
修繕費	321	29	6		4	3	15	
印刷製本費	3,277	3,567	227	2,462	443	129	505	
燃料費								
光熱水料費	1,749	754	30	2,574	20	15	79	
賃借料	1,425	119	6	1,148	974	3	17	
保険料	321	28	5	7	4	3	15	
諸謝金	12,925	12,120	1,616	1,763	1,211	802	330	
租税公課	1,683	189	29	22	20	15	86	
支払負担金								
看護材料購入費								
管理諸費	4,141	280	54	3,640	37	784	145	
交際費								
図書費	780			48	5		20	
会議費								
支払手数料								
雑費(その他の経費)	3,900	310	687	1,911	650	598	28	
経常費用計	67,546	31,758	11,347	32,226	6,981	4,808	5,414	
当期経常増減額	△9,326	△66	△11,345	△26	△6,980	△3,687	△190	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額(法人会計より)								
当期一般正味財産増減額	△9,326	△66	△11,345	△26	△6,980	△3,687	△190	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高								
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
一般正味財産への振替額								
当期指定正味財産増減額								
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高								
III 正味財産期末残高								